

防犯に関するアンケート 結果

2022年12月

岡崎市

目次

1	調査概要	1
2	調査結果	3
設問1	性別(SA)	3
設問2	年齢(SA)	3
設問3	お住まいの学区(小学校区)(SA)	4
設問4	同居家族の人数(本人以外)(SA)	4
設問5	同居家族の種類(本人以外)(MA)	5
設問6	岡崎市は「犯罪のない誰もが安全で安心して暮らせるまち」だと思うか(SA)	7
設問7	あなたがお住まいの学区内の治安についてどのように感じているか(SA)	10
設問8	日常の中で、ご自身やご家族が被害にあうのではないかと不安に感じるか(SA)	13
設問9	普段ご自分で取り組んでいる防犯対策(MA)	16
設問10	犯罪情報や防犯に関する情報の収集方法(MA)	17
設問11	各地域で自主的な防犯ボランティア活動があることを知っているか(SA)	18
設問12	地域組織(自主防犯組織やPTA等)の防犯ボランティア活動に参加しているか(SA)	21
設問13	防犯ボランティア活動に参加したきっかけ(「1. 参加している」と回答された方)(MA)	24
設問14	機会があれば、地域の防犯ボランティア活動に参加したいと思うか(SA)	25
設問15	地域組織(自主防犯組織やPTA等)の防犯ボランティア活動の効果(SA)	28
設問16	防犯の視点を持って地域を見守る活動であなたが実施できそうなもの(MA)	31
設問17	公共空間での街頭防犯カメラの設置についてあなたのお考えに近いもの(MA)	37
設問18	防犯カメラをネットワーク化し一元的に管理する仕組みの導入についての考え(SA)	38
設問19	令和4年1月に都市宣言を表明したことを知っているか(SA)	41
設問20	安全・安心なまちの実現に向けて、特に必要だと思う取り組み(MA)	44
設問21	防犯に関し市や警察に実施してほしいこと	46

1 調査概要

図表 1-1 調査概要

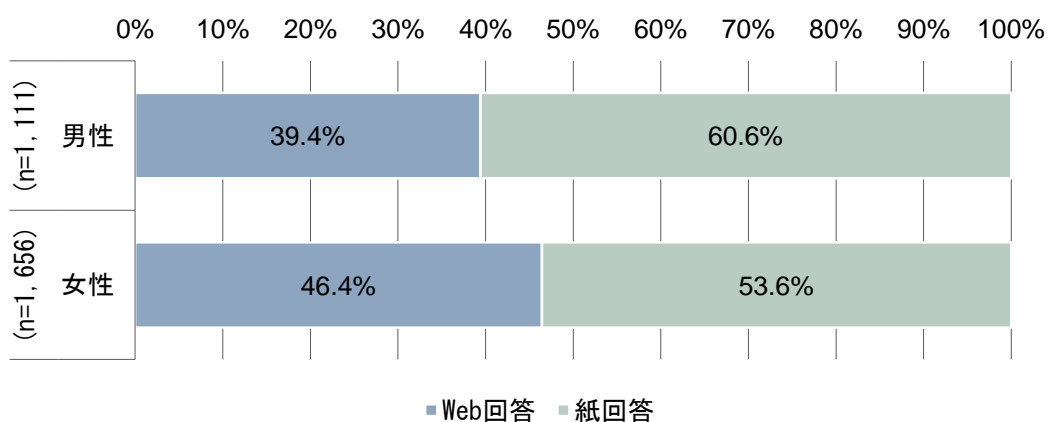
	郵送アンケート	WEB アンケート
方法	郵送配布・回収	(株)マクロミル社のシステムにより構築した URL を市政だより等で配布
対象	5,000 人 ※年代、性別で均等配分 ※居住地域(8地域)別の人口構成比 ※住民基本台帳から抽出	住民全般 ※市政だより、防犯情報メールによる 広報、郵送アンケート対象者からの波及等
対象年齢	18 歳以上	
調査期間	2022 年 7 月 8 日(金)～2022 年 7 月 22 日(金)	
回収数	2,790 件(紙回答は 1,580 件、Web 回答は 1,210 件)	

※SA は単一回答、MA は複数回答、FA は記述回答の設問を表す。

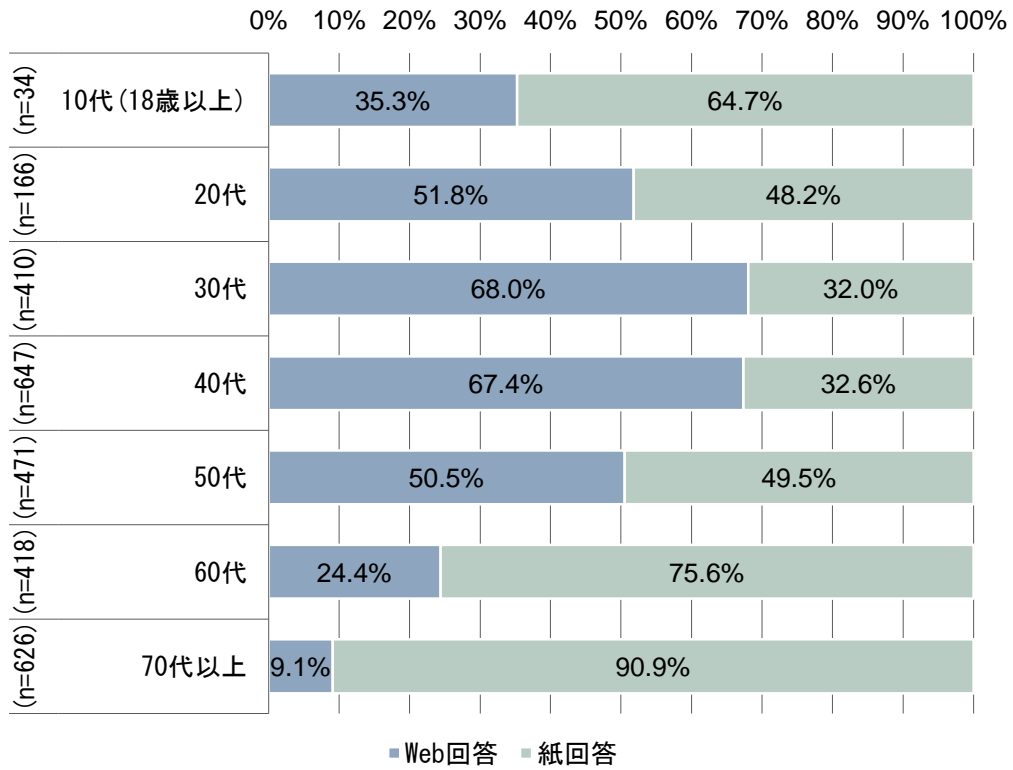
※図中にあるnは、その設問の回答者数(サンプル数)を表す。

※回答結果について、選択形式の設問は百分率で集計しているが、少数第2位を四捨五入しているため、全ての選択肢の百分率の合計が 100%にならない場合がある。

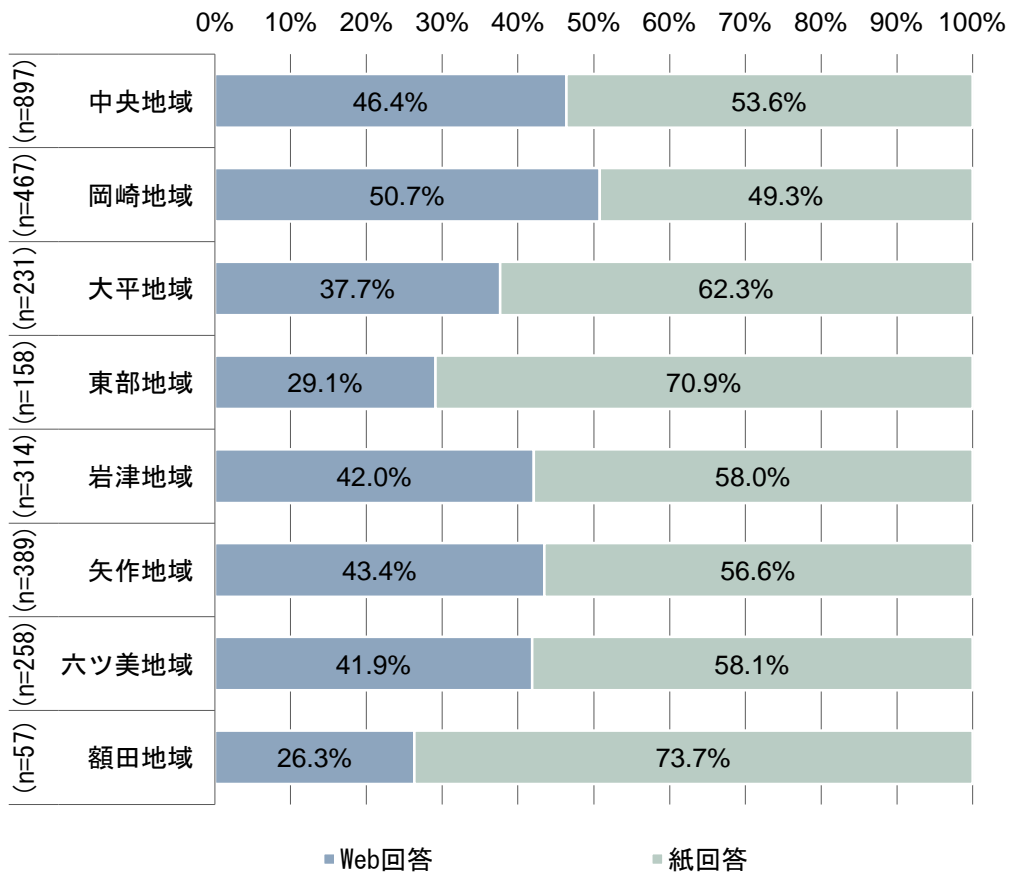
図表 1-2 回答方法(男女別)



図表 1-3 回答方法(年代別)



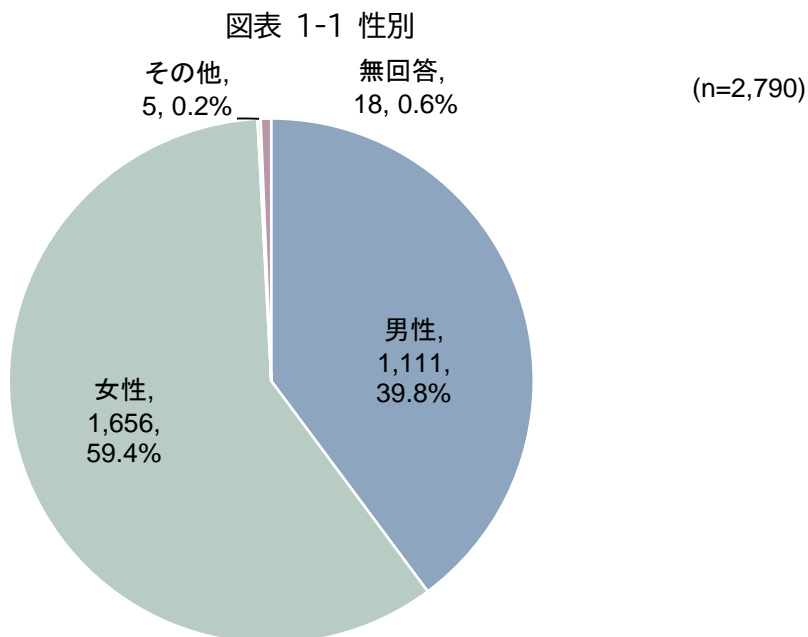
図表 1-4 回答方法(地域別)



2 調査結果

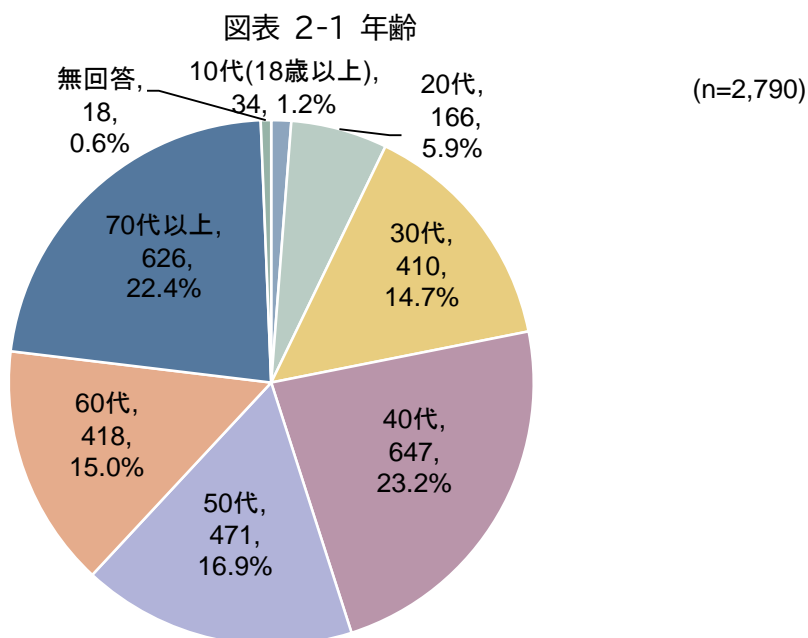
問1 性別 (SA)

「女性」の割合が最も高く 59.4%となっている。次いで、「男性(39.8%)」となっている。



問2 年齢 (SA)

「40代」の割合が最も高く 23.2%となっている。次いで、「70代以上(22.4%)」、「50代(16.9%)」となっている。



問3 お住まいの学区（小学校区）（SA）

「井田」の割合が最も高く5.1%となっている。次いで、「梅園(4.2%)」、「六名(4.0%)」となっている。

図表 3-1 お住まいの学区(小学校区)

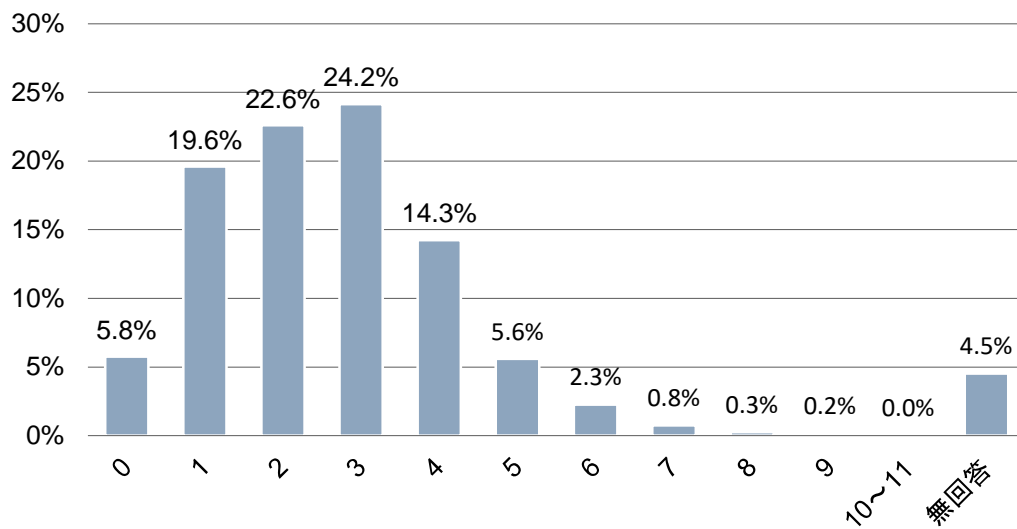
	梅園	根石	井田	愛宕	広幡	連尺	六名	三島	竜美丘	常磐南
件	116	101	142	33	72	96	111	73	106	10
%	4.2	3.6	5.1	1.2	2.6	3.4	4.0	2.6	3.8	0.4
	常磐東	常磐	羽根	小豆坂	城南	岡崎	福岡	上地	男川	美合
件	7	30	109	69	51	89	65	84	78	74
%	0.3	1.1	3.9	2.5	1.8	3.2	2.3	3.0	2.8	2.7
	緑丘	生平	秦梨	竜谷	藤川	山中	本宿	恵田	岩津	大樹寺
件	68	8	3	15	56	44	43	8	55	80
%	2.4	0.3	0.1	0.5	2.0	1.6	1.5	0.3	2.0	2.9
	大門	奥殿	細川	矢作東	矢作北	北野	矢作西	矢作南	六ツ美中部	六ツ美北部
件	89	9	73	79	93	69	45	103	28	93
%	3.2	0.3	2.6	2.8	3.3	2.5	1.6	3.7	1.0	3.3
	六ツ美西部	六ツ美南部	豊富	夏山	宮崎	形埜	下山	無回答等		
件	63	74	31	4	11	6	5	19		
%	2.3	2.7	1.1	0.1	0.4	0.2	0.2	0.6		

問4 同居家族の人数（本人以外）（SA）

「3人」の割合が最も高く24.2%となっている。次いで、「2人(22.6%)」、「1人(19.6%)」となっている。

図表 4-1 同居家族の人数(本人以外)

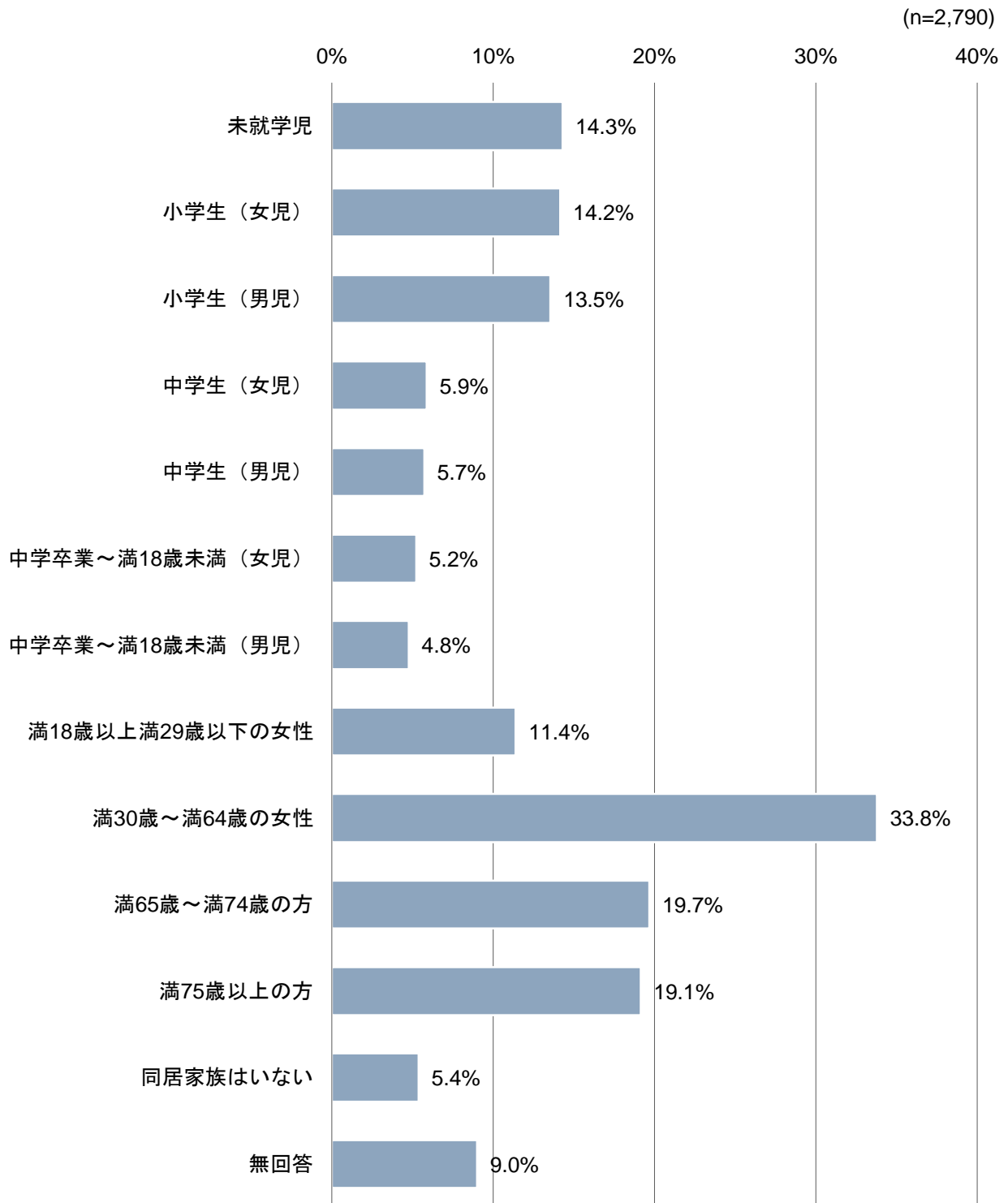
(n=2,790)



問5 同居家族の種類(本人以外) (MA)

「満30歳～満64歳の女性」の割合が最も高く33.8%となっている。次いで、「満65歳～満74歳の方(19.7%)」、「満75歳以上の方(19.1%)」となっている。

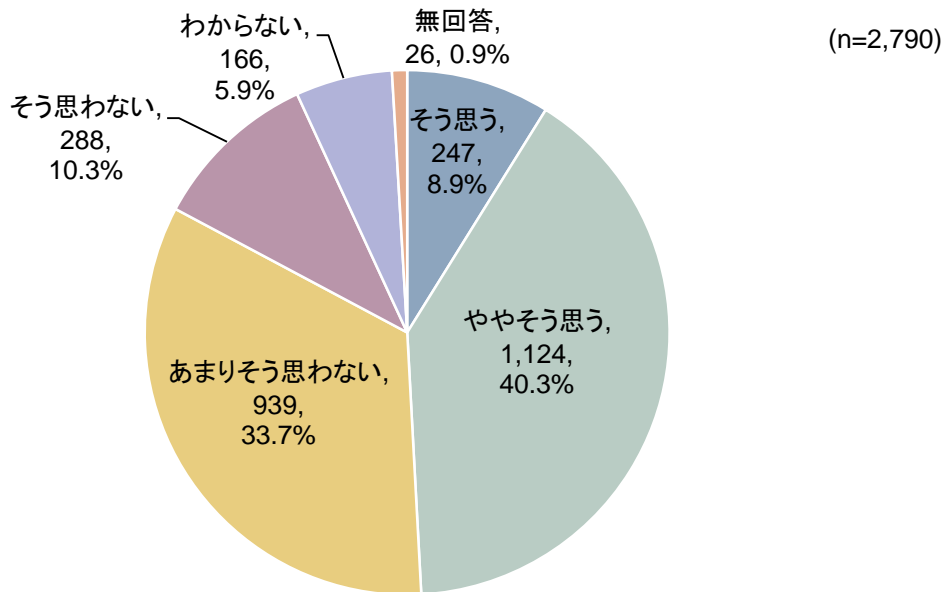
図表 5-1 同居家族の種類(本人以外)



問6 岡崎市は「犯罪のない誰もが安全で安心して暮らせるまち」だと思うか (SA)

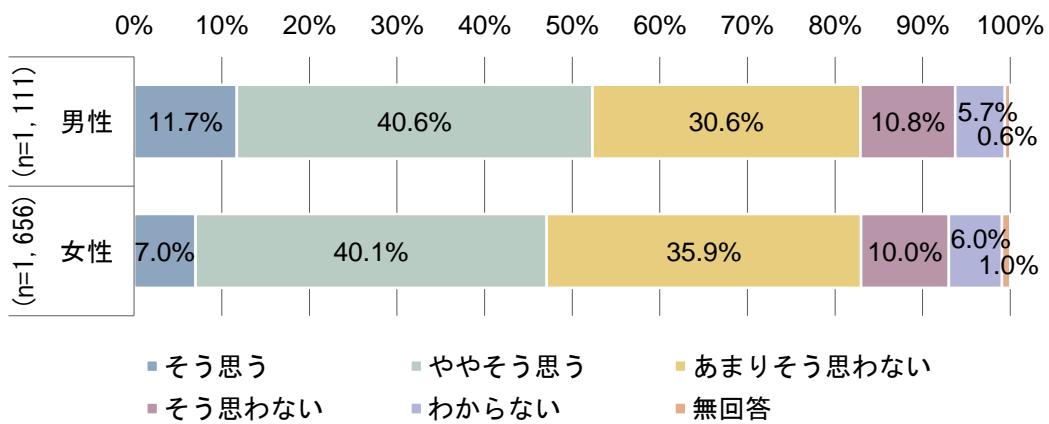
「ややそう思う」の割合が最も高く40.3%となっている。次いで、「あまりそう思わない(33.7%)」、「そう思わない(10.3%)」となっている。

図表 6-1 岡崎市は「犯罪のない誰もが安全で安心して暮らせるまち」だと思うか



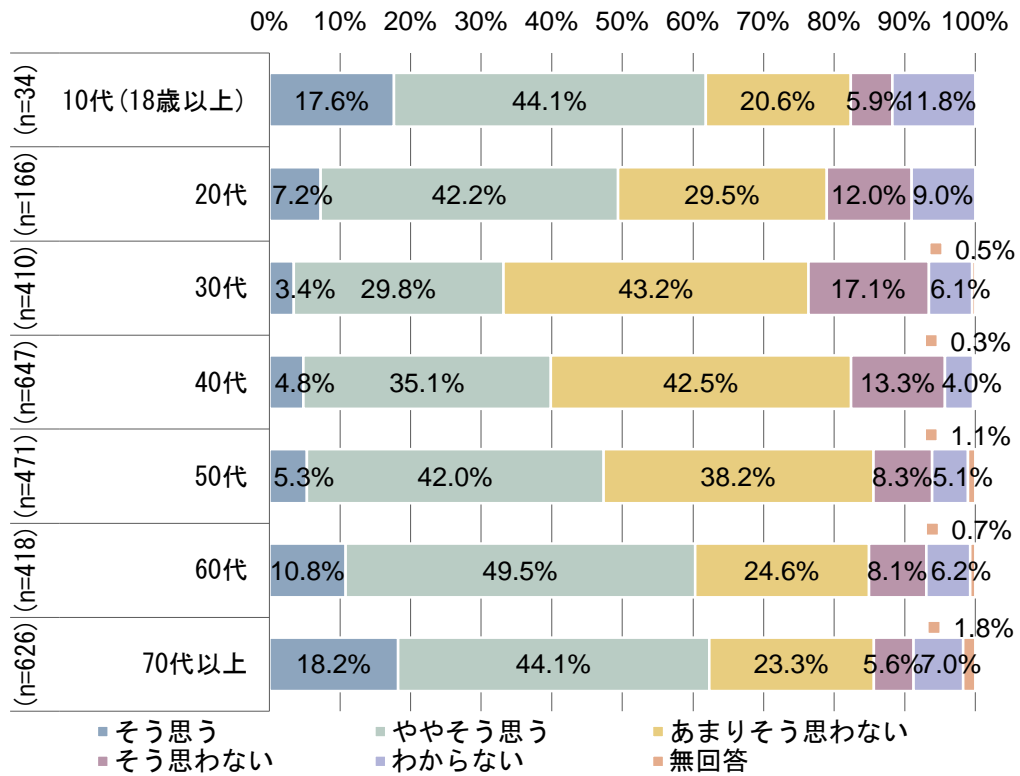
男女別にみると、「そう思う」と「ややそう思う」の合計の割合が、男性は52.3%、女性は47.1%と、男性の方が5.2%高い。

図表 6-2 岡崎市は「犯罪のない誰もが安全で安心して暮らせるまち」だと思うか(男女別)



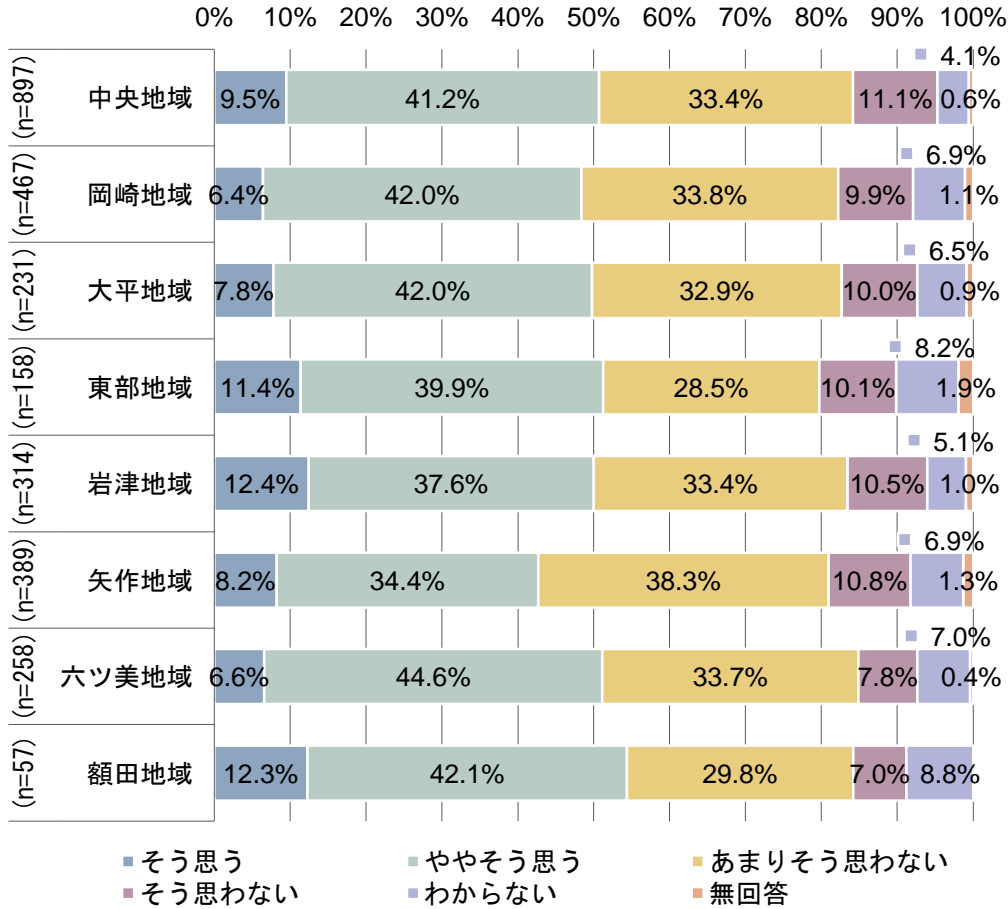
年代別にみると、「そう思う」と「ややそう思う」の合計の割合が、30代は33.2%と最も低く、70代以上は62.3%と最も高い。

図表 6-3 岡崎市は「犯罪のない誰もが安全で安心して暮らせるまち」だと思うか(年代別)

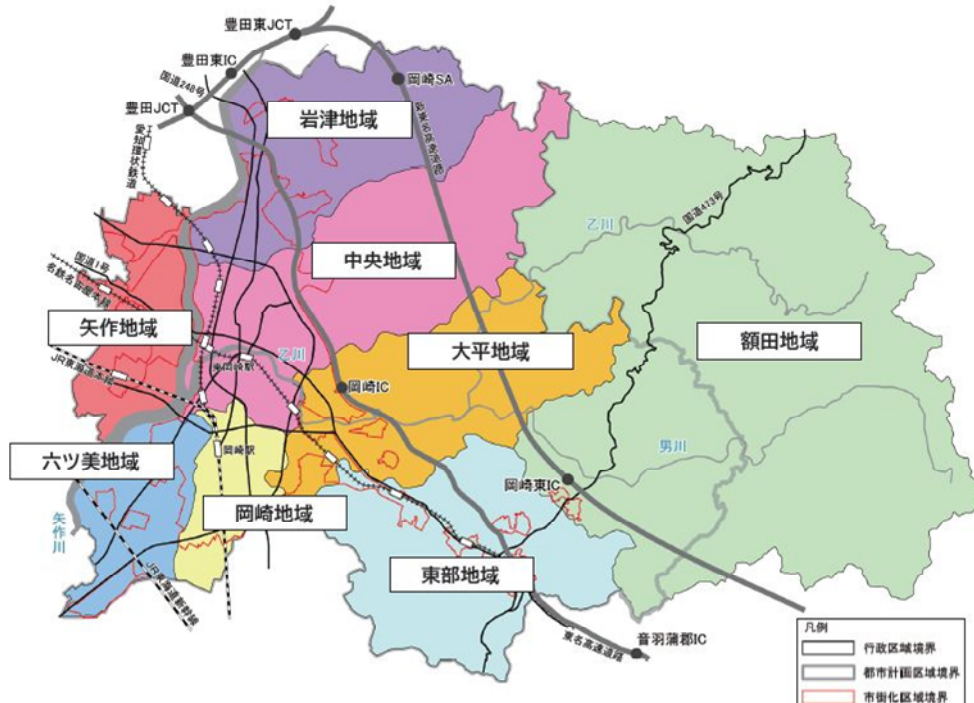


地域別にみると、「そう思う」と「ややそう思う」の割合が、矢作地域で42.6%と最も低く、額田地域で54.4%と最も高い。

図表 6-4 岡崎市は「犯罪のない誰もが安全で安心して暮らせるまち」だと思うか(地域別)



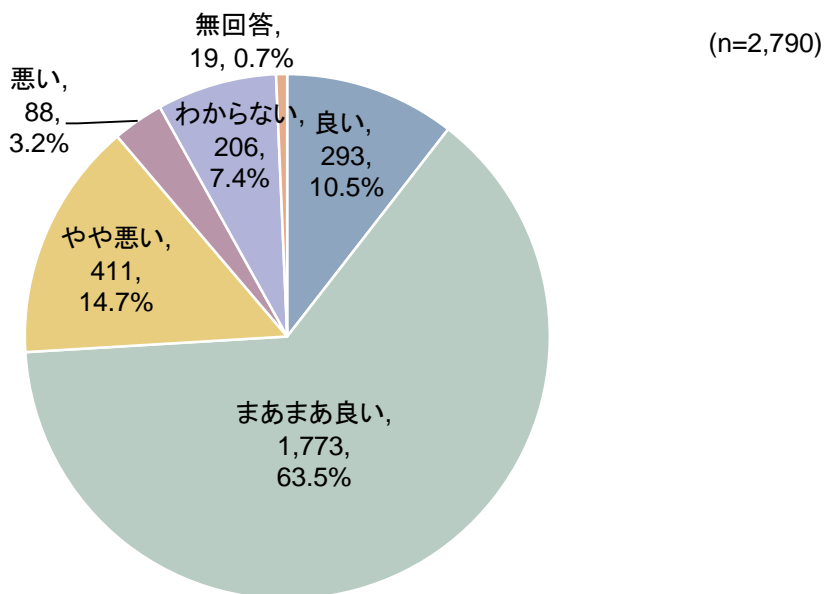
(参考)市内地域区分図(令和4年12月1日時点)



問7 あなたがお住まいの学区内の治安についてどのように感じているか (SA)

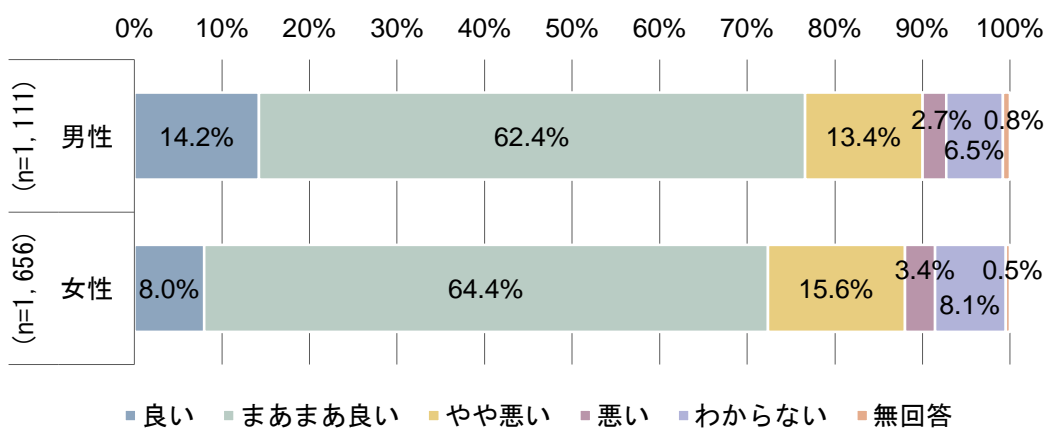
「まあまあ良い」の割合が最も高く63.5%となっている。次いで、「やや悪い(14.7%)」、「良い(10.5%)」となっている。

図表 7-1 お住まいの学区内の治安



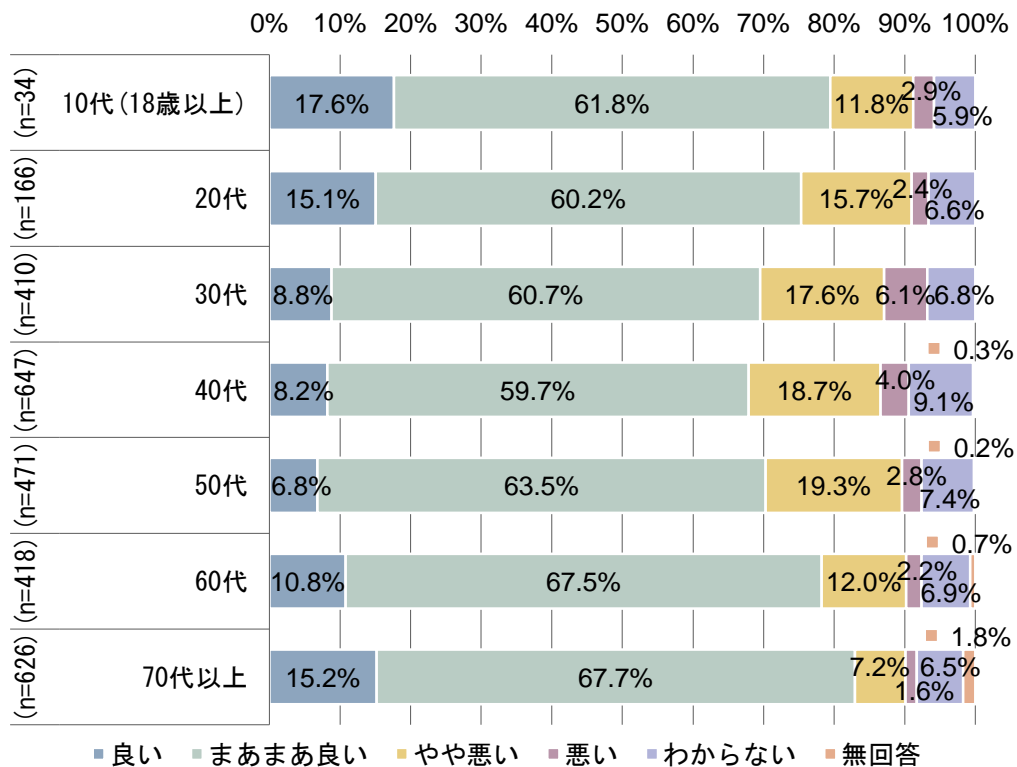
男女別にみると、「良い」と「まあまあ良い」の合計の割合が、男性は76.6%、女性は72.4%と、男性の方が4.2%高い。

図表 7-2 お住まいの学区内の治安(男女別)



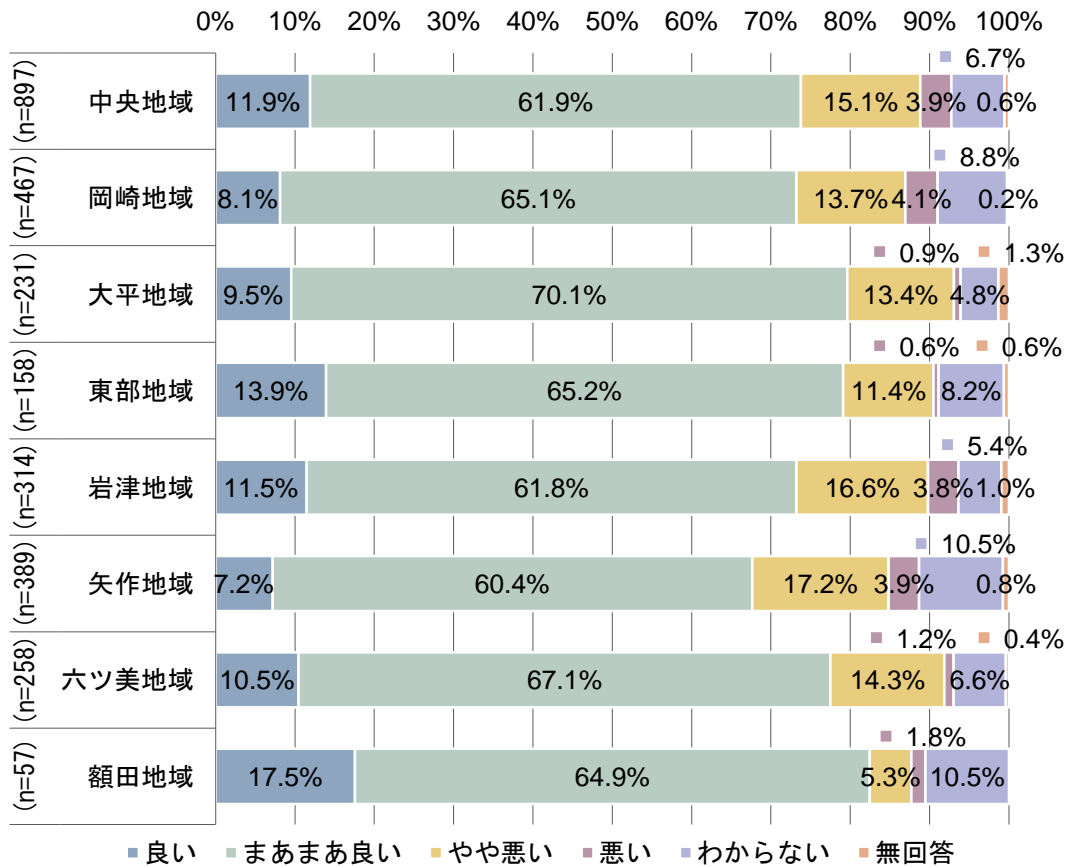
年代別にみると、「良い」と「まあまあ良い」の合計の割合が、40代は67.9%と最も低く、70代以上は82.9%と最も高い。

図表 7-3 お住まいの学区内の治安(年代別)



地域別にみると、「良い」と「まあまあ良い」の合計の割合が、矢作地域は67.6%と最も低く、額田地域は82.4%と最も高い。

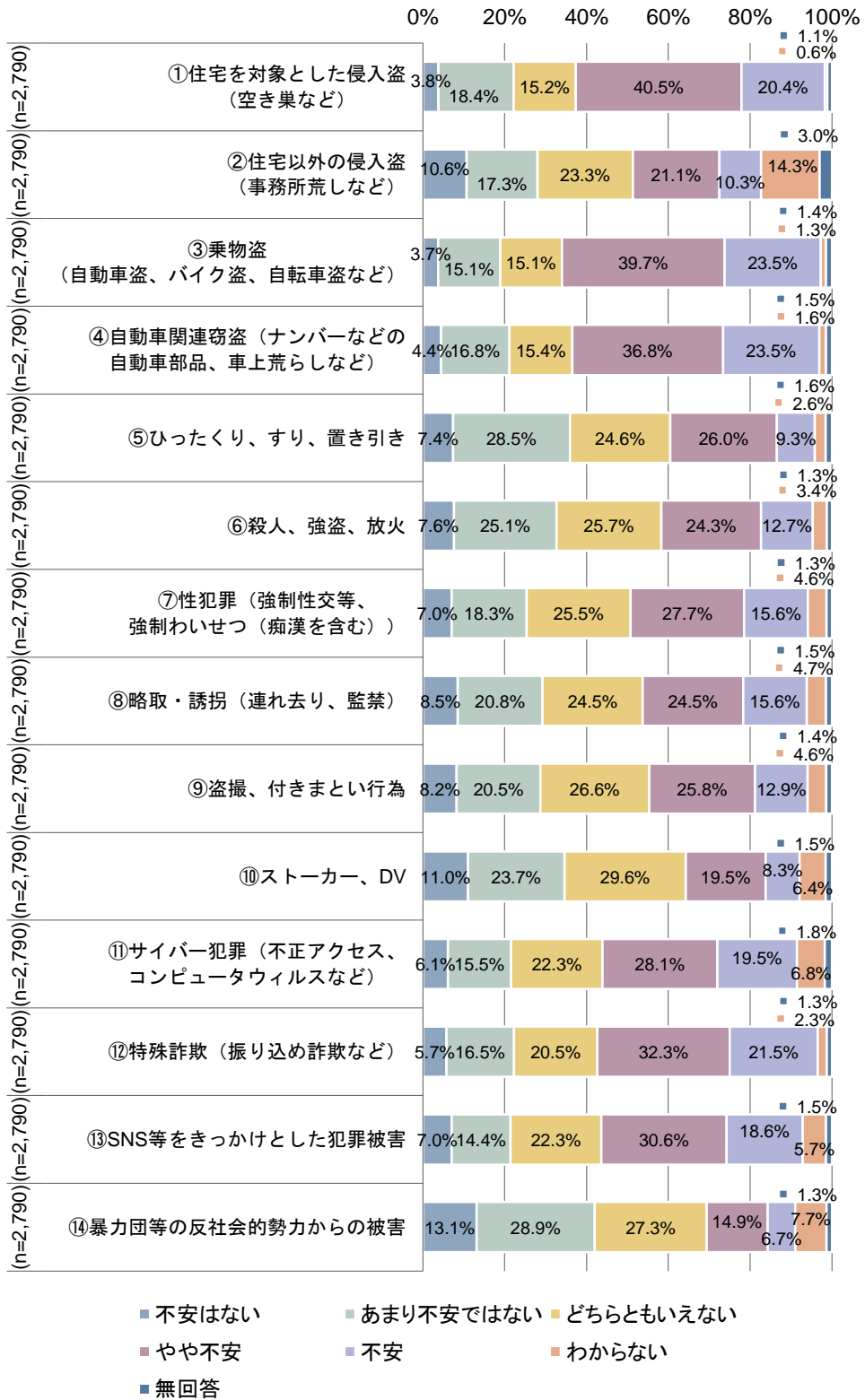
図表 7-4 お住まいの学区内の治安(地域別)



問8 日常の中で、ご自身やご家族が被害にあうのではないかと不安に感じるか (SA)

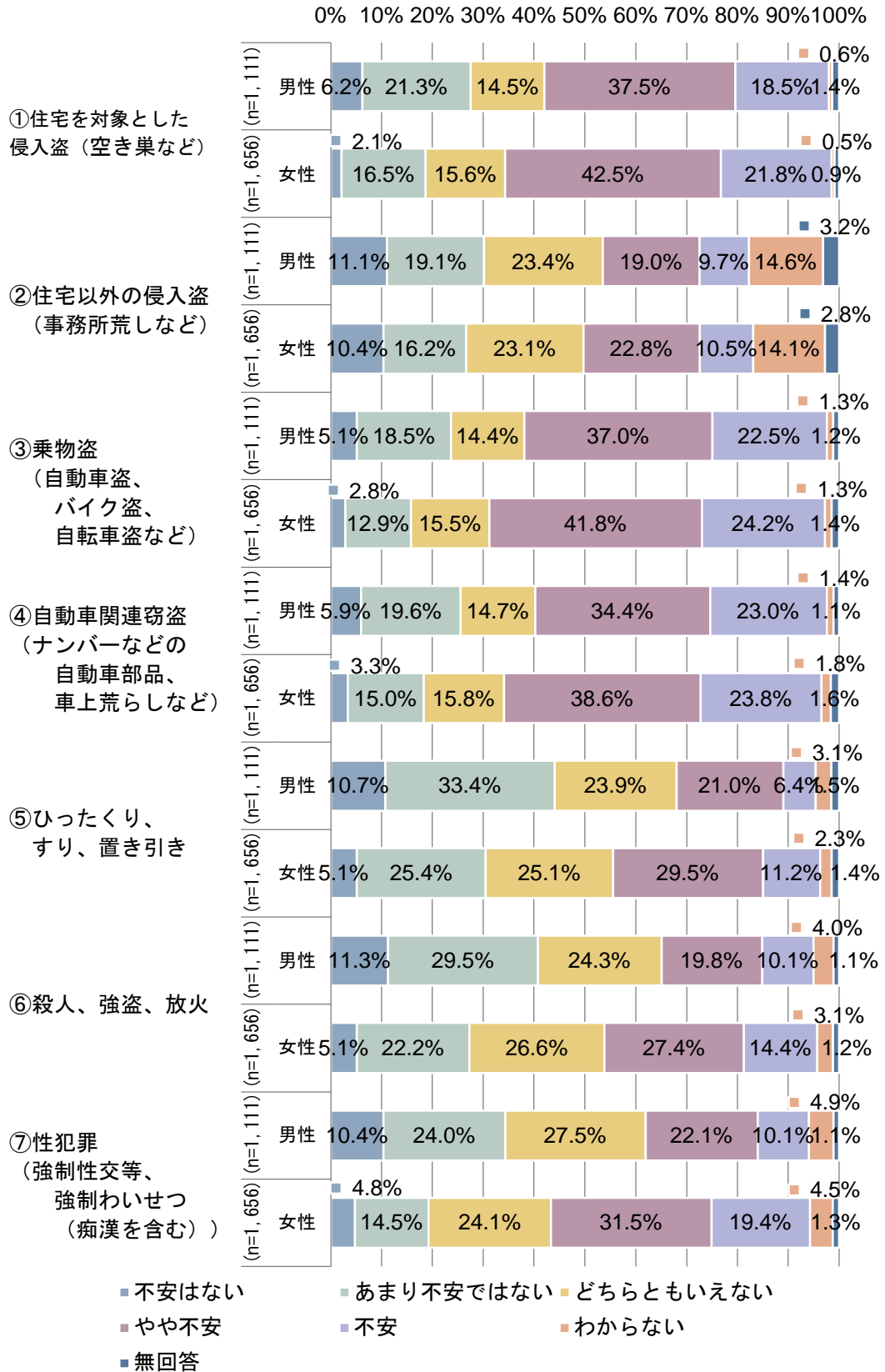
「不安」と「やや不安」の割合の合計に着目すると、「③乗物盗(自動車盗、バイク盗、自転車盗など)」における割合が最も高く63.2%となっている。次いで、「①住宅を対象とした侵入盗(空き巣など)(60.9%)」、「④自動車関連窃盗(ナンバーなどの自動車部品、車上荒らしなど)(60.3%)」となっている。

図表 8-1 日常の中で、ご自身やご家族が被害にあうのではないかと不安に感じるか



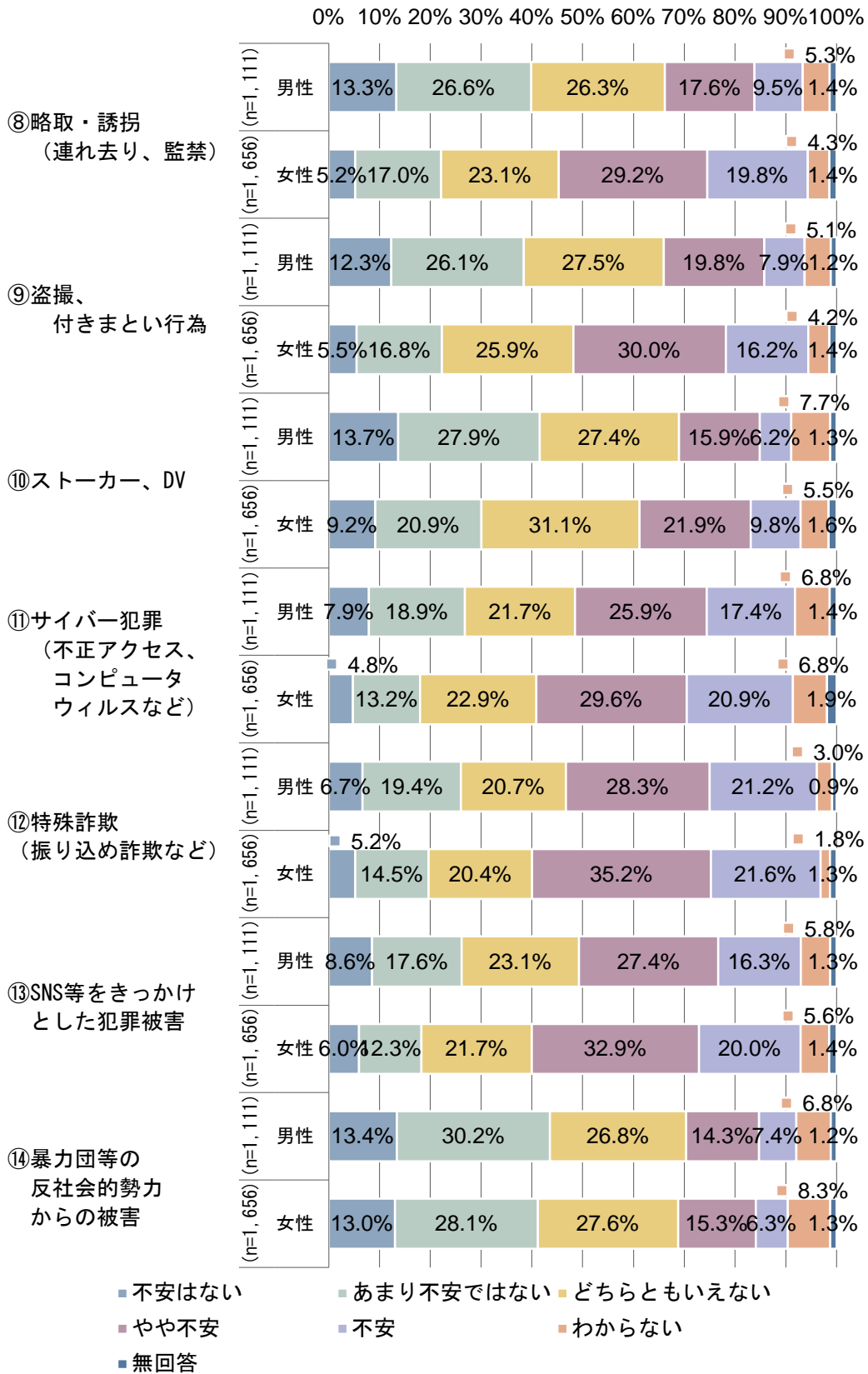
男女別にみると、「不安」と「やや不安」の合計の割合は、「⑭暴力団等の反社会的勢力からの被害」以外の罪種で男性よりも女性の方が高い。

図表 8-2 日常の中で、ご自身やご家族が被害にあうのではないかと不安を感じるか(男女別)



図表 8-2 日常の中で、ご自身やご家族が被害にあうのではないかと不安を感じるか(男女別)

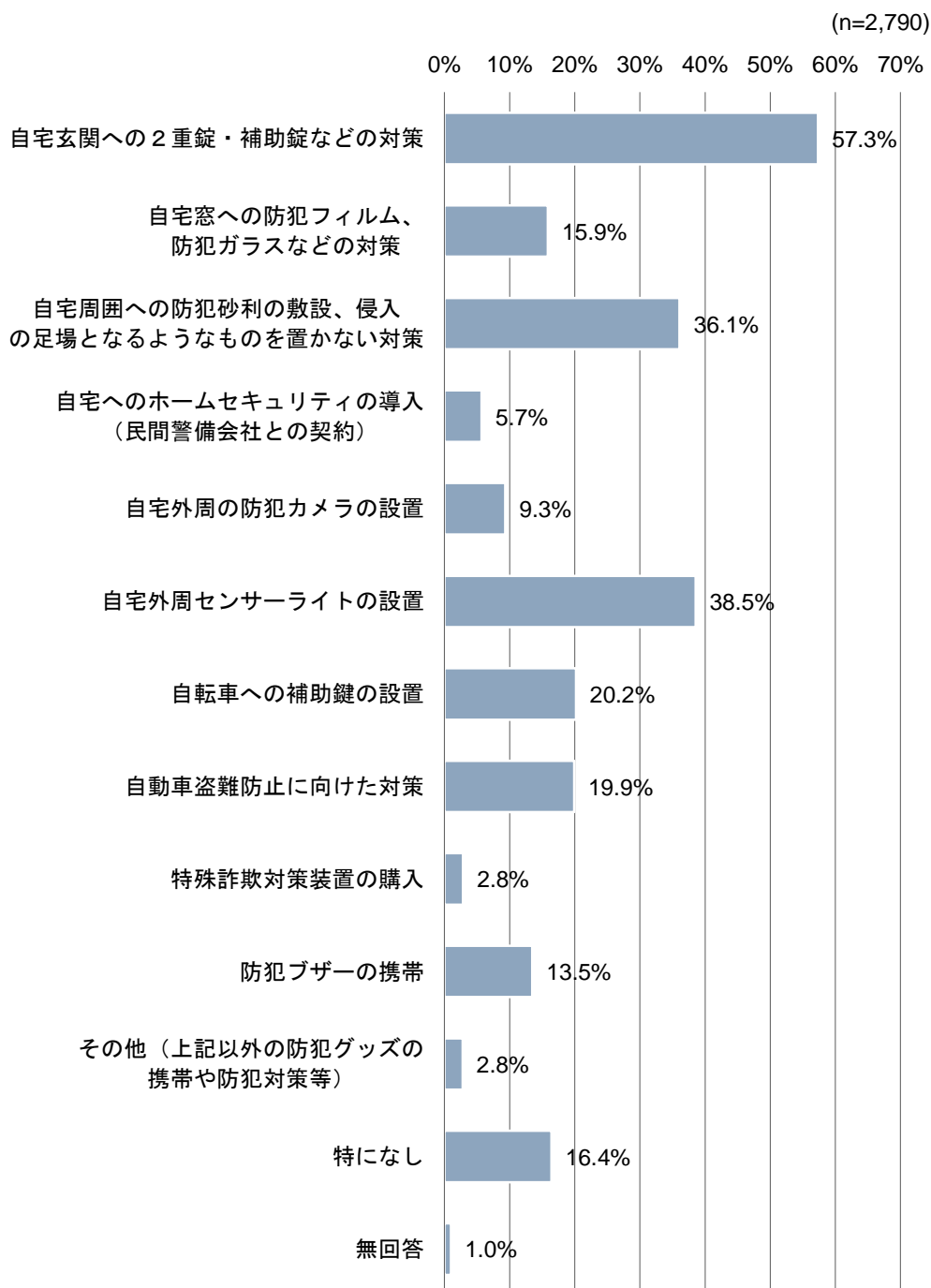
※つづき



問9 普段ご自分で取り組んでいる防犯対策（MA）

「自宅玄関への2重錠・補助錠などの対策」の割合が最も高く57.3%となっている。次いで、「自宅外周センサーライトの設置(38.5%)」、「自宅周囲への防犯砂利の敷設、侵入の足場となるようなものを置かない対策(36.1%)」となっている。

図表 9-1 普段ご自分で取り組んでいる防犯対策



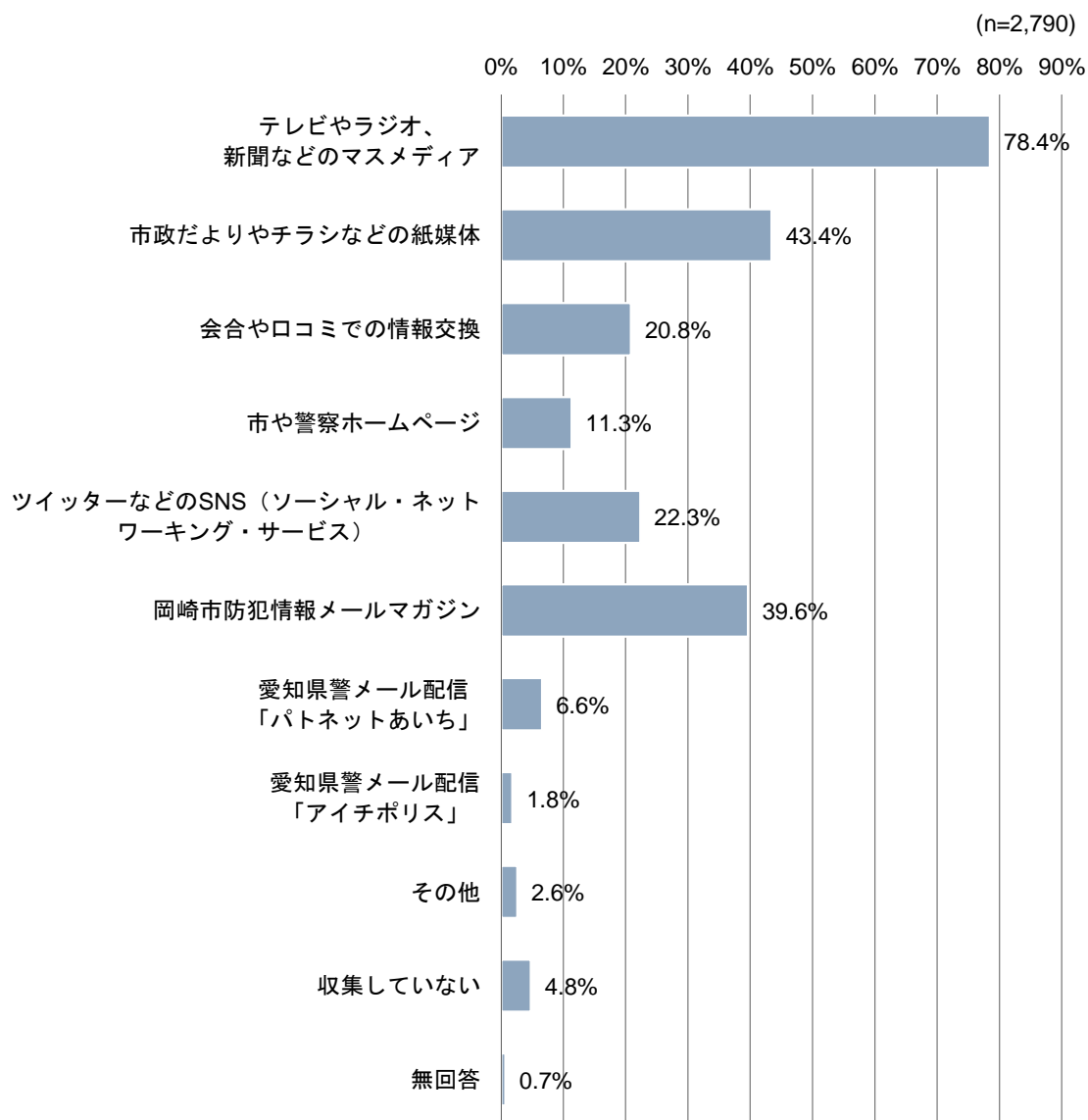
その他の内容（）内は件数

- | | | |
|-----------------------------------------|---------------|------------------|
| • 自宅外周の手入れ(8) | • 住民同士の挨拶等(4) | • 自動車・自転車の対策(3) |
| • マンションのセキュリティ(6) | • 人の気配(4) | • センサーライト・ブザー(3) |
| • 特殊詐欺防止の電話の対策(6) | • 犬(4) | • 室内カメラ(3) |
| • GPSの携帯(5) | • 防犯カメラ(4) | • ライトの設置(2) |
| • 窓・玄関の対策(5) | • 夜間の対策(3) | |
| • その他(筋トレ/小型の催涙スプレー所持/貴重品を銀行の貸金庫に預けている) | | |

問 10 犯罪情報や防犯に関する情報の収集方法 (MA)

「テレビやラジオ、新聞などのマスメディア」の割合が最も高く 78.4%となっている。次いで、「市政だよりやチラシなどの紙媒体(43.4%)」、「岡崎市防犯情報メールマガジン」(39.6%)となっている。

図表 10-1 犯罪情報や防犯に関する情報の収集方法



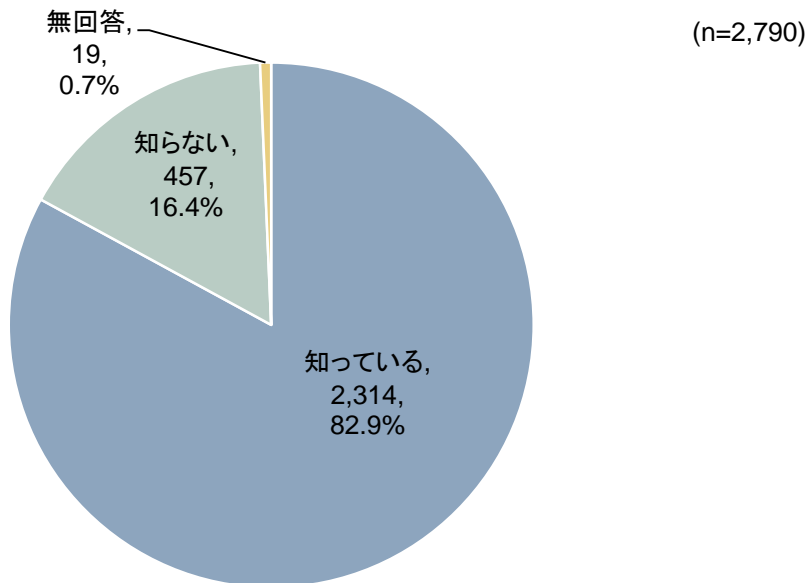
その他の内容 ()内は件数

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園や小学校等からのメール・おたより(20) Yahoo(くらしの防犯情報、地域タブ)(12) 回覧板(7) 家族・知人(7) Yahooの防災速報アプリ(6) 駐在所だより(5) スマホ・インターネット(4) | <ul style="list-style-type: none"> アプリ(3) LINE NEWS(2) 岡崎市公式 LINE(1) 専門雑誌の記事(1) きずなネット(中部電力)(1) 警視庁のTwitterアカウント・広報(1) |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

問11 各地域で自主的な防犯ボランティア活動(町内巡回や児童の登下校見守り活動、青色防犯パトロールなど)があることを知っているか (SA)

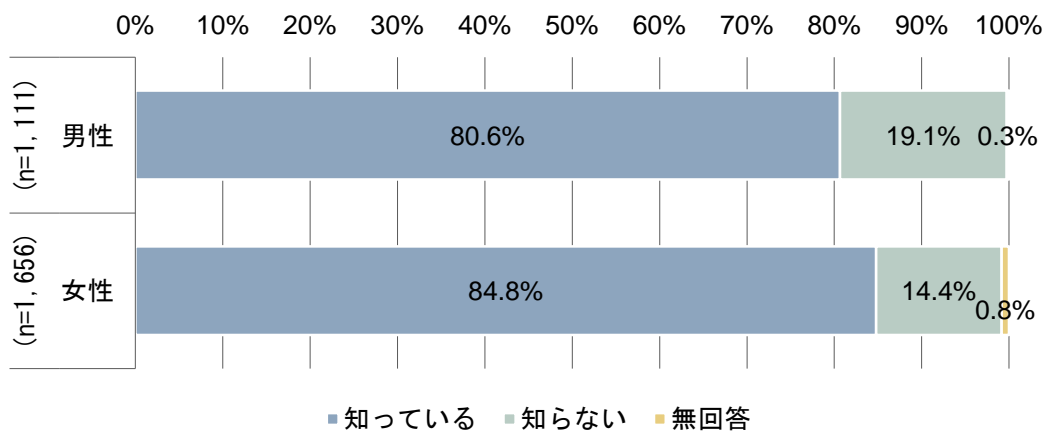
「知っている」の割合が最も高く82.9%となっている。次いで、「知らない(16.4%)」となっている。

図表 11-1 各地域で自主的な防犯ボランティア活動があることを知っているか



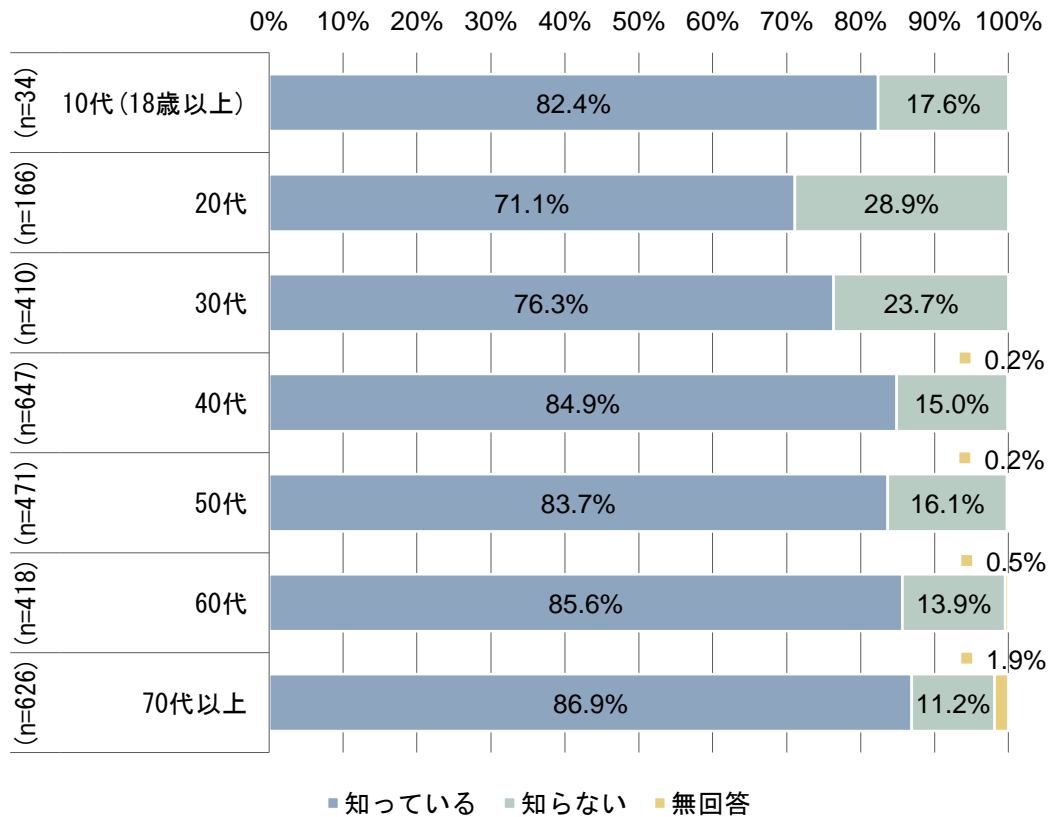
男女別にみると、女性は「知っている」の割合が84.8%と、男性の80.6%よりも高い。

図表 11-2 各地域で自主的な防犯ボランティア活動があることを知っているか(男女別)



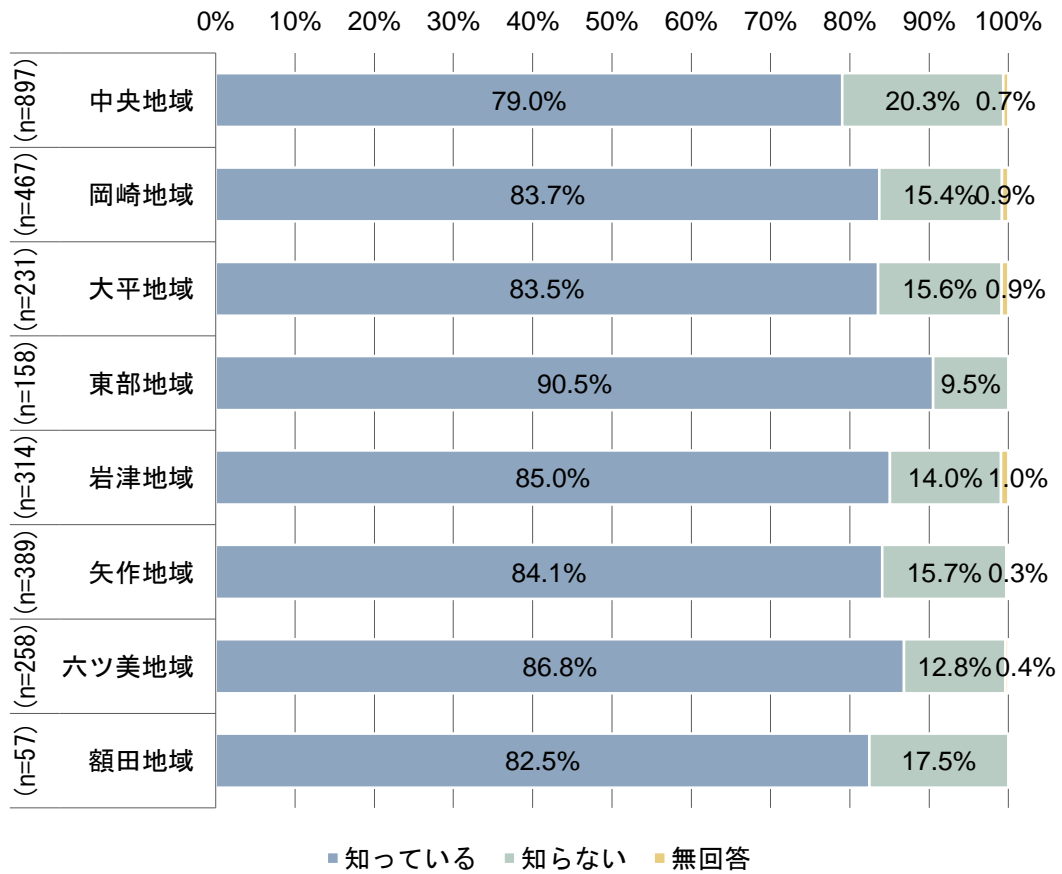
年代別にみると、「知っている」の割合が20代で71.1%と最も低く、70代以上で86.9%と最も高い。

図表 11-3 各地域で自主的な防犯ボランティア活動があることを知っているか(年代別)



年代別にみると、「知っている」の割合が中央地域で79.0%と最も低く、東部地域で90.5%と最も高い。

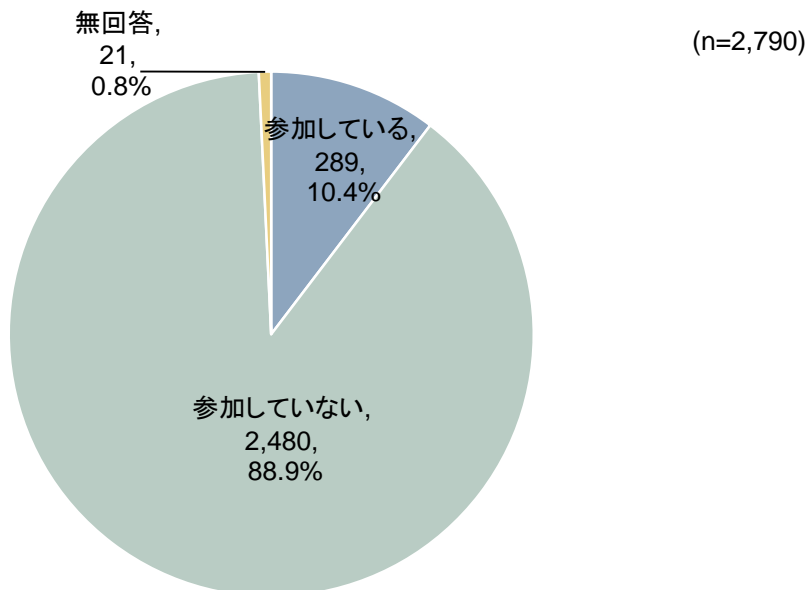
図表 11-4 各地域で自主的な防犯ボランティア活動があることを知っているか(地域別)



**問 12 地域組織（自主防犯組織や PTA 等）の防犯ボランティア活動に参加しているか
(SA)**

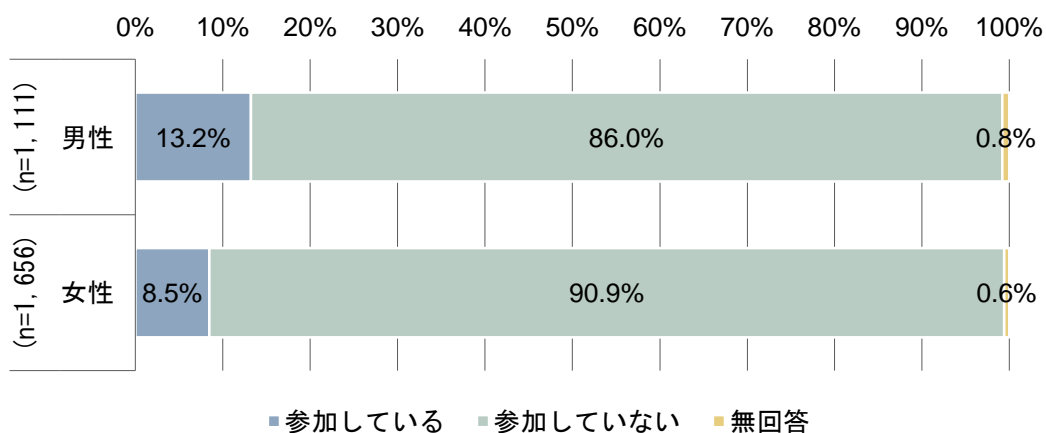
「参加していない」の割合が最も高く 88.9%となっている。次いで、「参加している(10.4%)」となっている。

図表 12-1 地域組織(自主防犯組織や PTA 等)の防犯ボランティア活動に参加しているか



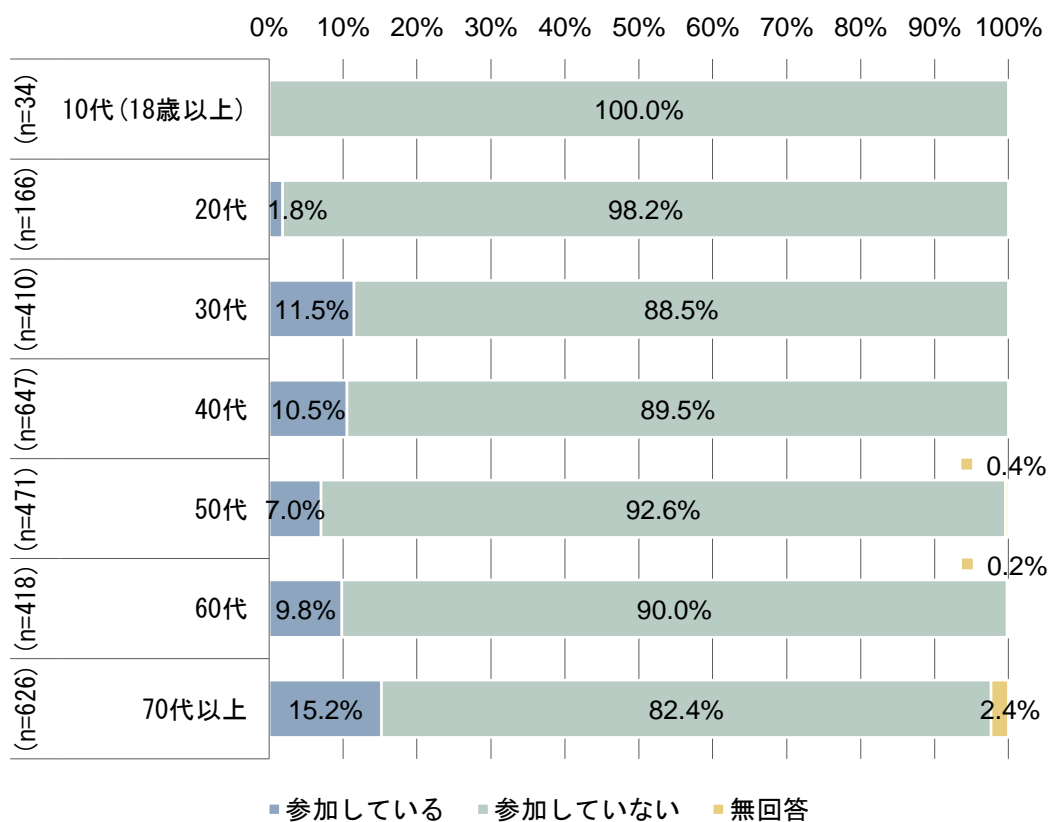
男女別にみると、男性は「参加している」の割合が 13.2%と、女性の 8.5%よりも高い。

図表 12-2 地域組織(自主防犯組織や PTA 等)の防犯ボランティア活動に参加しているか
(男女別)



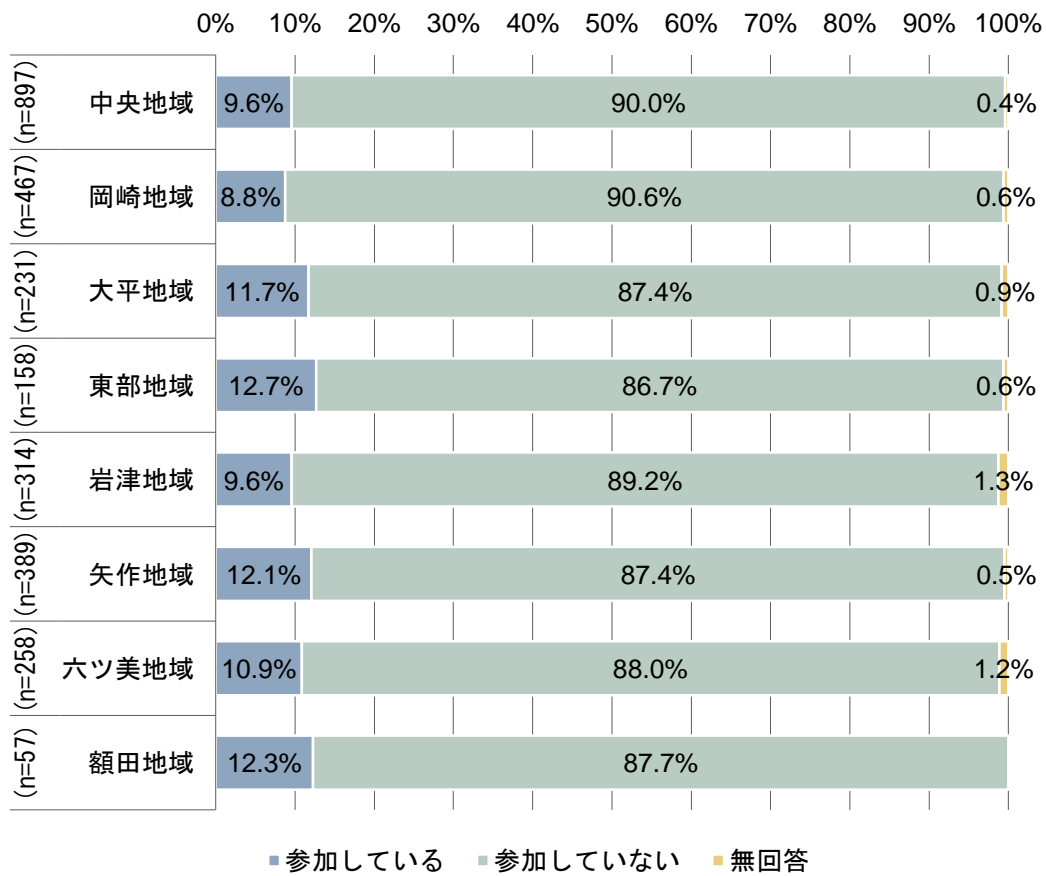
年代別にみると、「参加している」の割合は10代(18歳以上)で0.0%と最も低く、70代以上で15.2%と最も高い。

図表 12-3 地域組織(自主防犯組織やPTA等)の防犯ボランティア活動に参加しているか
(年代別)



地域別にみると、「参加している」の割合は岡崎地域で 8.8%と最も低く、東部地域で 12.7%と最も高い。

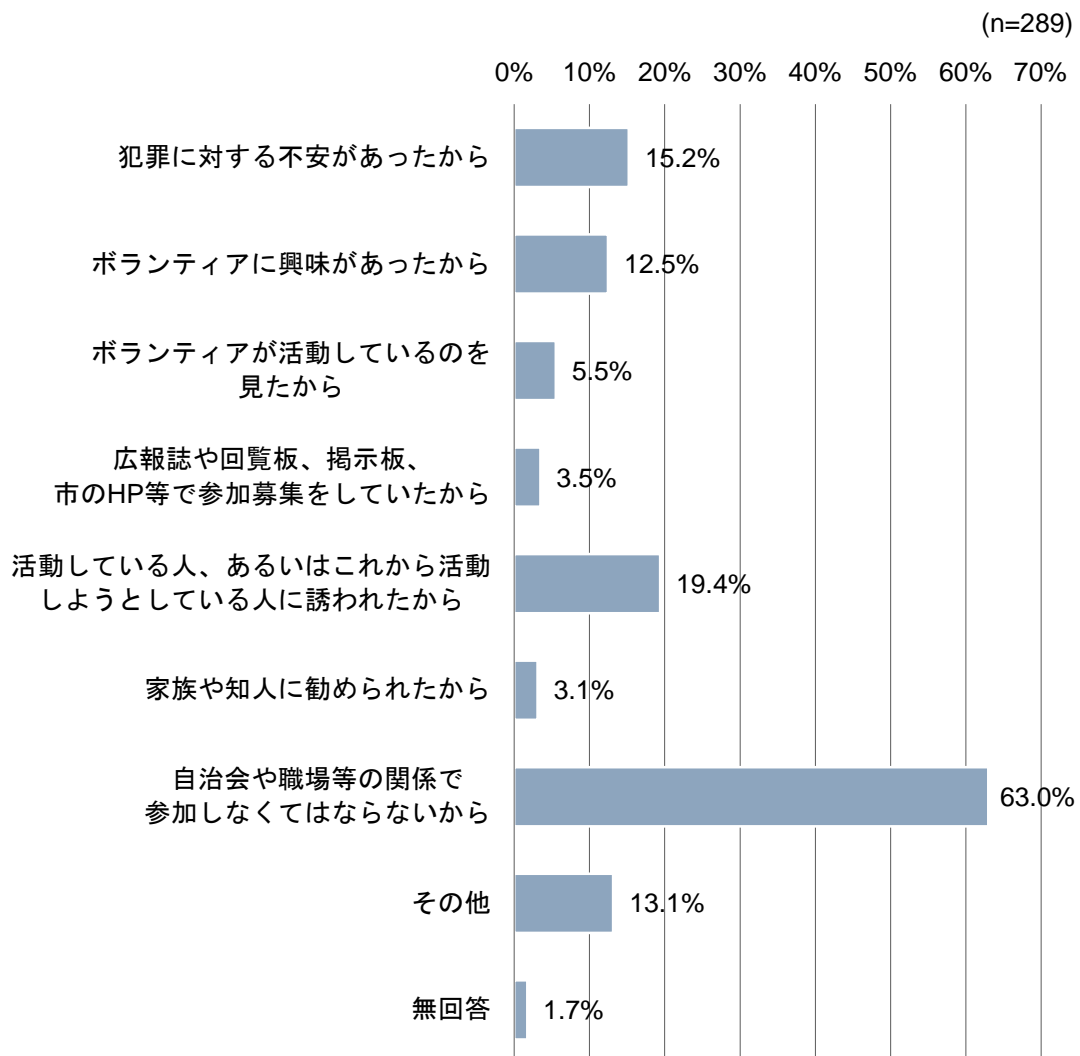
図表 12-4 地域組織(自主防犯組織や PTA 等)の防犯ボランティア活動に参加しているか
(地域別)



問 13 防犯ボランティア活動に参加したきっかけ（問 12 で「参加している」と回答された方）（MA）

「自治会や職場等の関係で参加しなくてはならないから」の割合が最も高く 63.0%となっている。次いで、「活動している人、あるいはこれから活動しようとしている人に誘われたから（19.4%）」、「犯罪に対する不安があったから（15.2%）」となっている。

図表 13-1 防犯ボランティア活動に参加したきっかけ



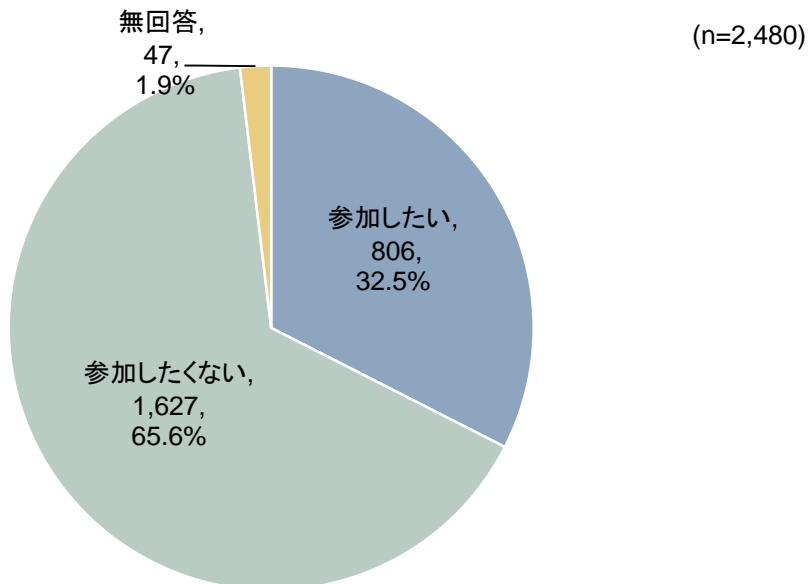
その他の内容（）内は件数

- 子どもが心配で見守りたかったから(12)
- 町内会や地域としての活動(11)
- PTAの活動や学校からの要請(8)
- 福祉委員や民生委員としての活動(2) 等

問 14 機会があれば、地域の防犯ボランティア活動に参加したいと思うか（問 12 で「参加していない」と回答された方）（SA）

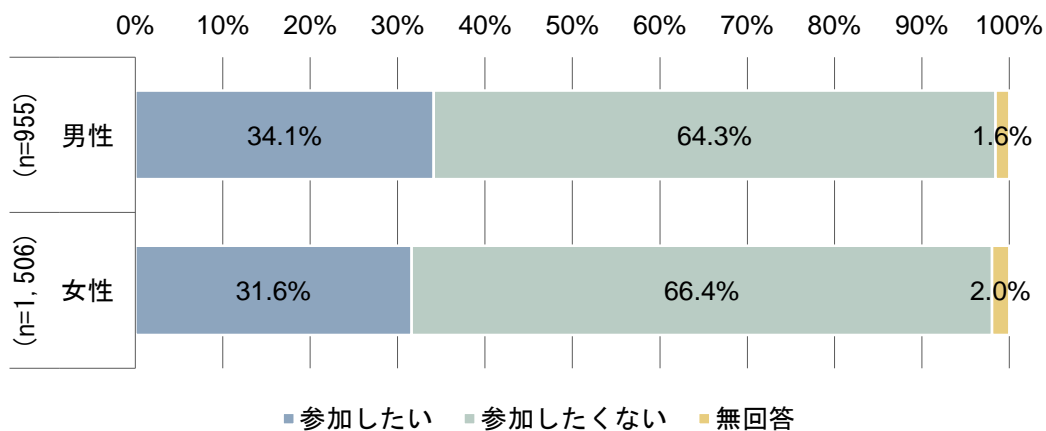
「参加したくない」の割合が最も高く 65.6%となっている。次いで、「参加したい(32.5%)」となっている。

図表 14-1 機会があれば、地域の防犯ボランティア活動に参加したいと思うか



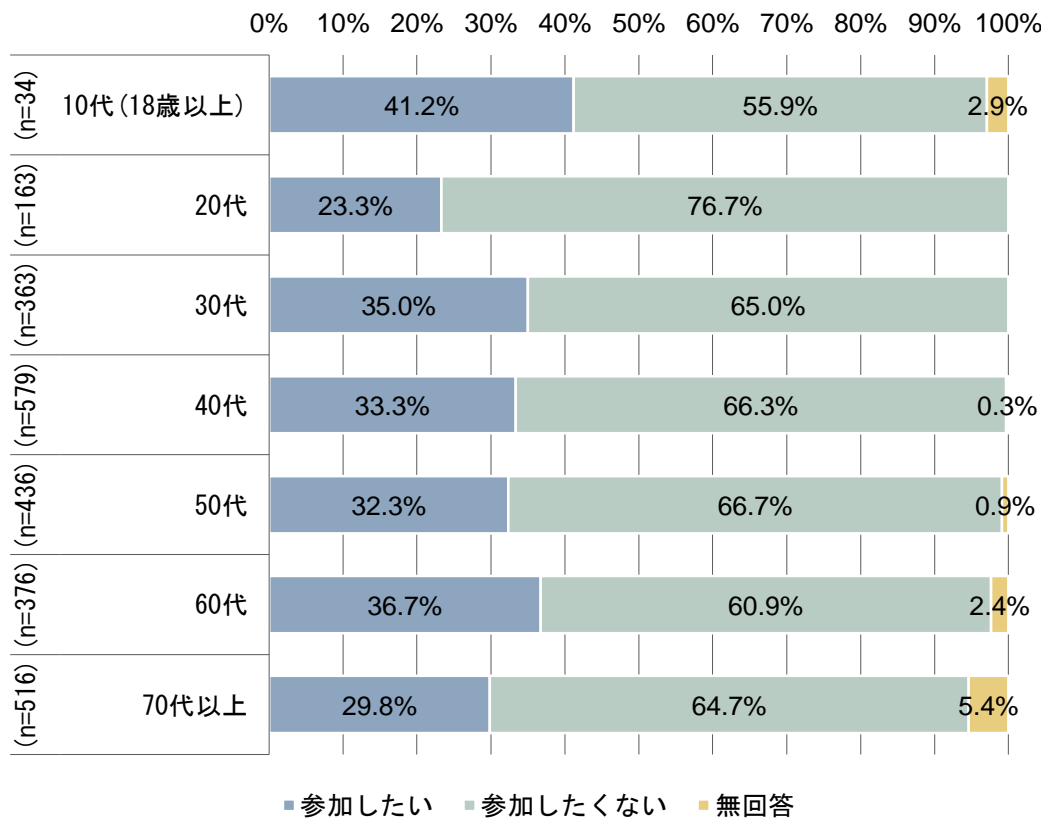
男女別にみると、男性は「参加したい」の割合が 34.1%と、女性の 31.6%よりも高い。

図表 14-2 機会があれば、地域の防犯ボランティア活動に参加したいと思うか(男女別)



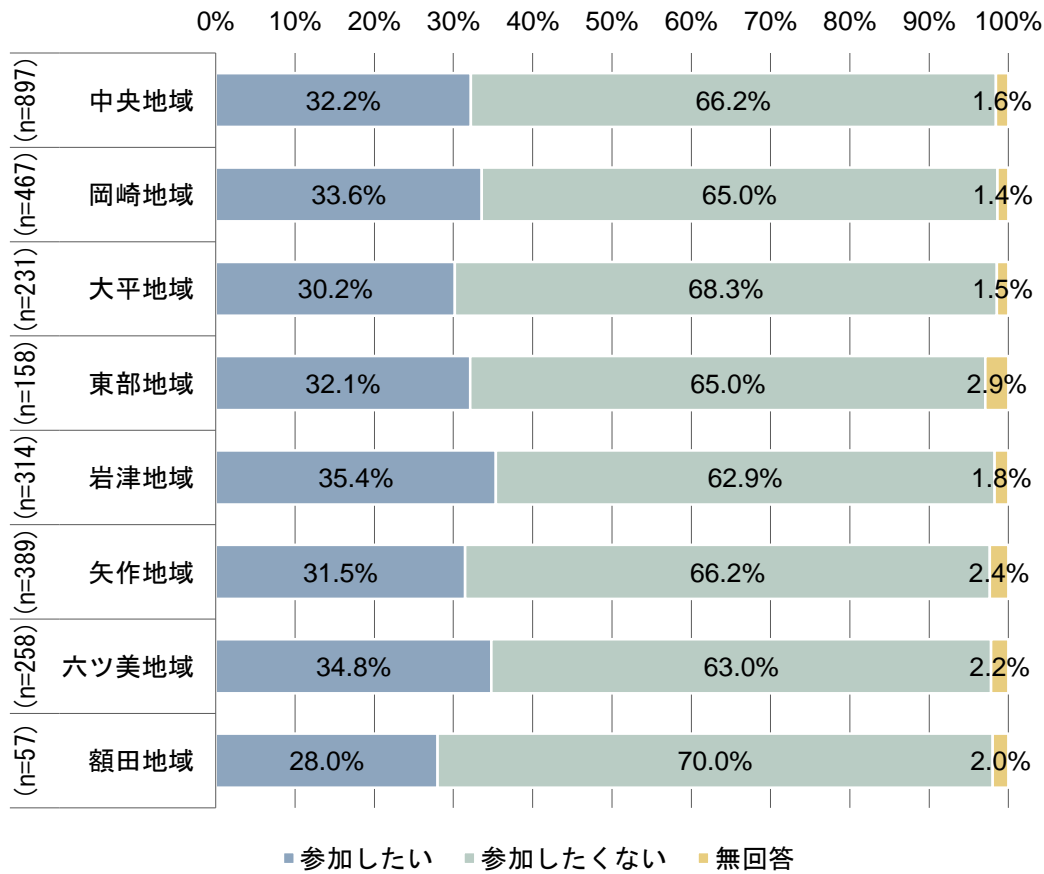
年代別にみると、「参加したい」の割合は20代で23.3%と最も低く、10代(18歳以上)で41.2%と最も高い。

図表 14-3 機会があれば、地域の防犯ボランティア活動に参加したいと思うか(年代別)



地域別にみると、「参加したい」の割合は額田地域で 28.0%と最も低く、岩津地域で 35.4%と最も高い。

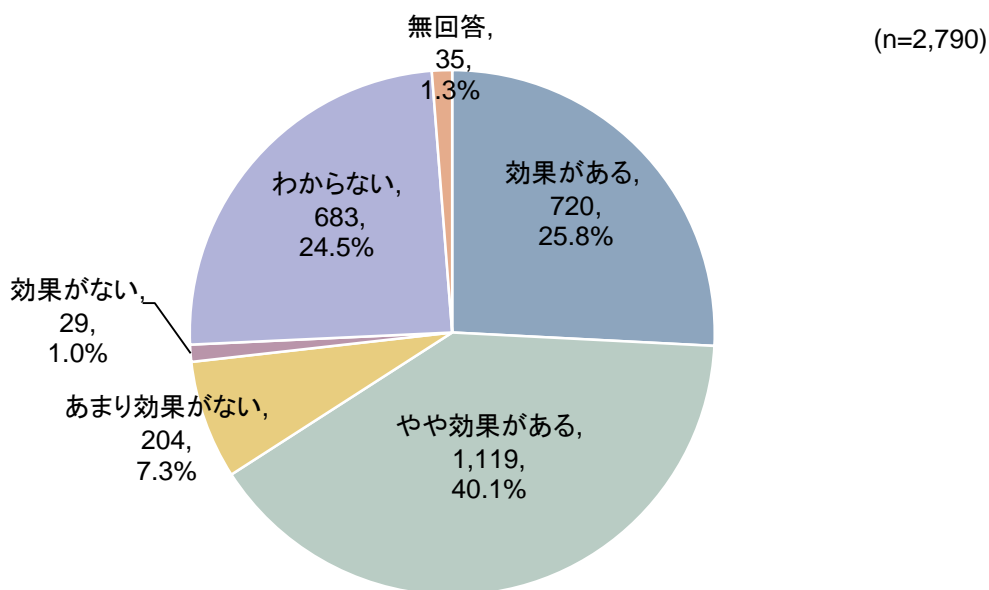
図表 14-4 機会があれば、地域の防犯ボランティア活動に参加したいと思うか(地域別)



問 15 地域組織（自主防犯組織や PTA 等）の防犯ボランティア活動の効果（SA）

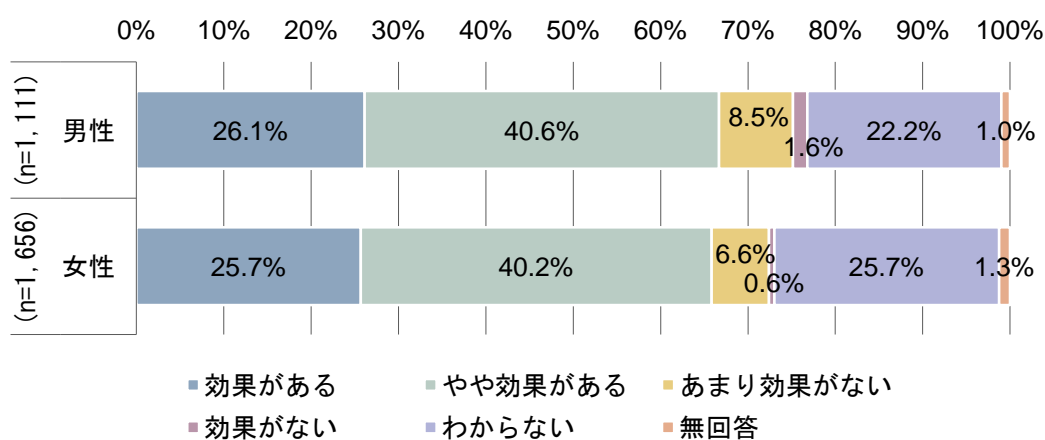
「やや効果がある」の割合が最も高く 40.1%となっている。次いで、「効果がある(25.8%)」、「わからない(24.5%)」となっている。

図表 15-1 地域組織(自主防犯組織や PTA 等)の防犯ボランティア活動の効果



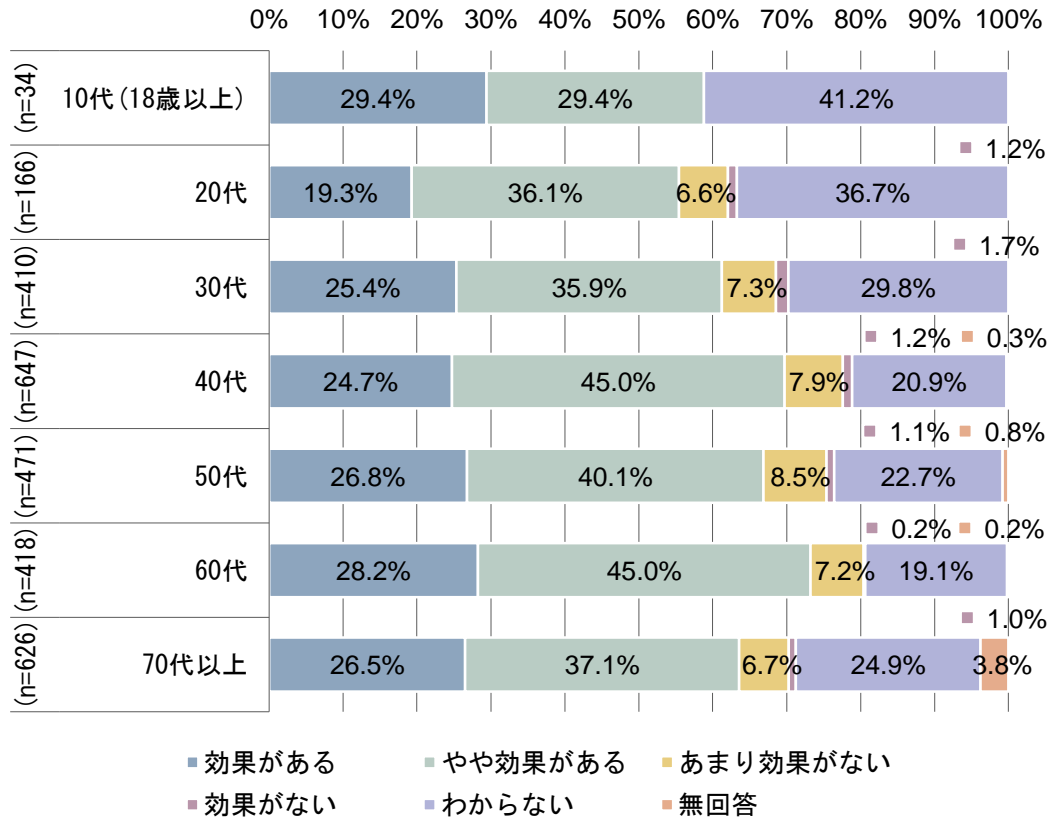
男女別にみると、「効果がある」と「やや効果がある」の合計の割合が男性で 66.7%、女性で 65.9%となっている。

図表 15-2 地域組織(自主防犯組織や PTA 等)の防犯ボランティア活動の効果(男女別)



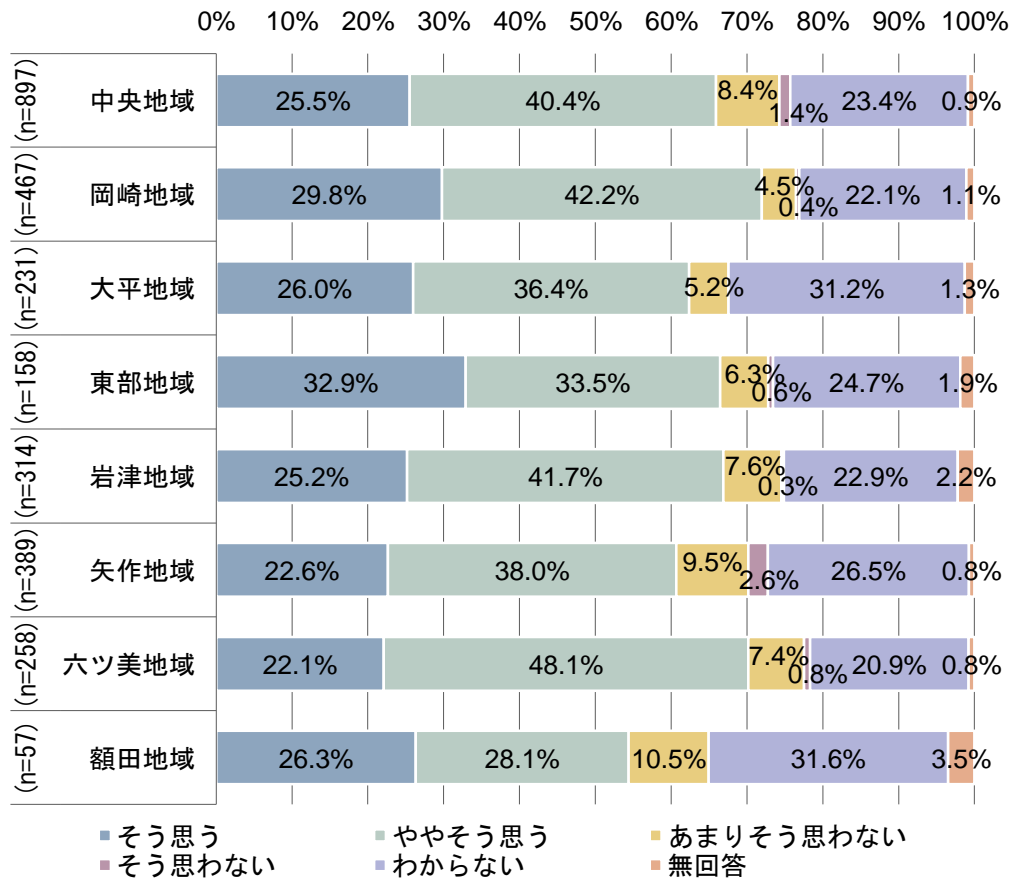
年代別にみると、「効果がある」と「やや効果がある」の合計の割合が20代で55.4%と最も低く、60代で73.2%と最も高い。

図表 15-3 地域組織(自主防犯組織やPTA等)の防犯ボランティア活動の効果(年代別)



地域別にみると、「効果がある」と「やや効果がある」の合計の割合が額田地域で 54.4%と最も低く、岡崎地域で 72.0%と最も高い。

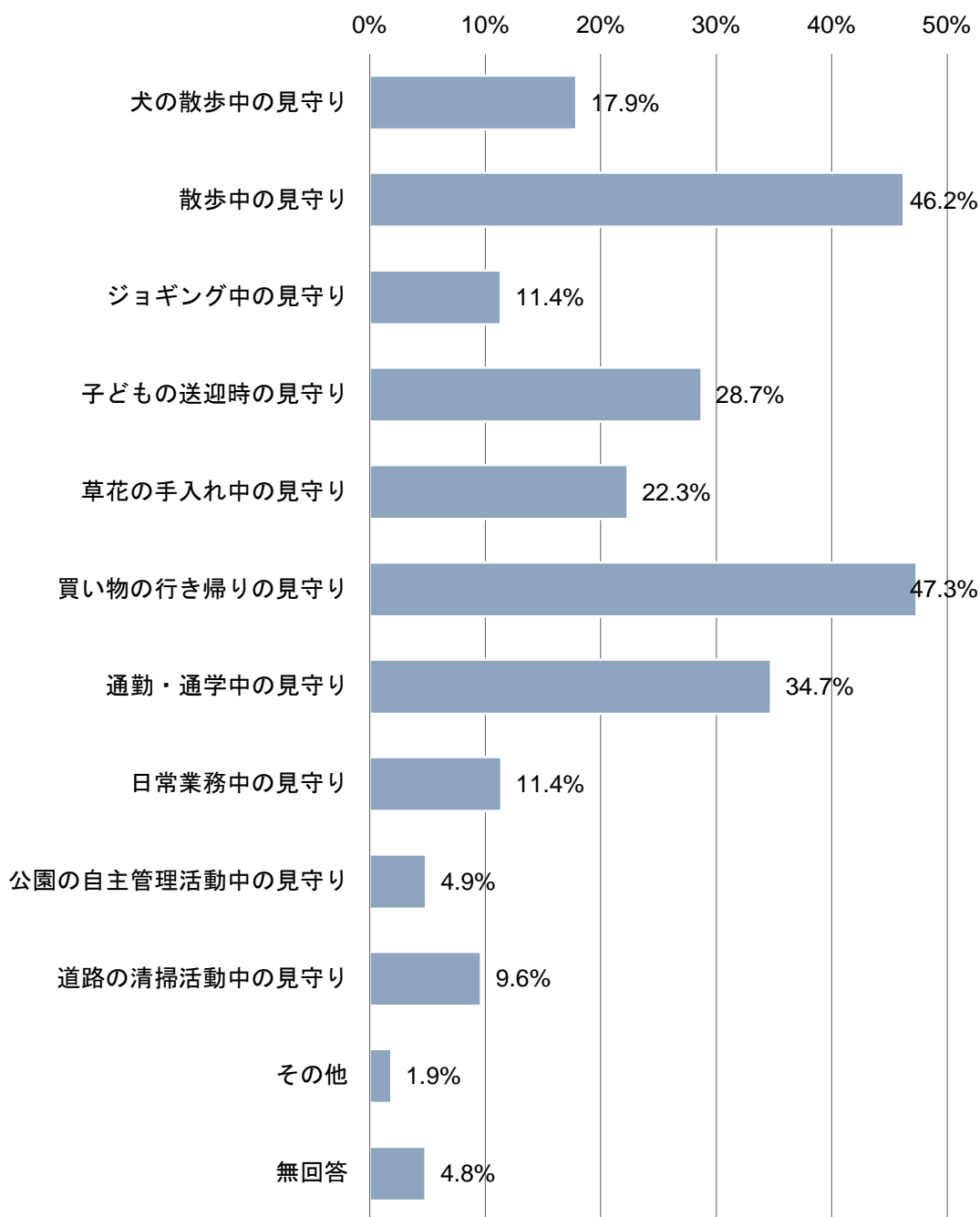
図表 15-4 地域組織(自主防犯組織や PTA 等)の防犯ボランティア活動の効果(地域別)



問 16 防犯の視点を持って地域を見守る活動であなたが実施できそうなもの (MA)

「買い物の行き帰りの見守り」の割合が最も高く47.3%となっている。次いで、「散歩中の見守り(46.2%)」、「通勤・通学中の見守り(34.7%)」となっている。

図表 16-1 防犯の視点を持って地域を見守る活動であなたが実施できそうなもの
(n=2,790)

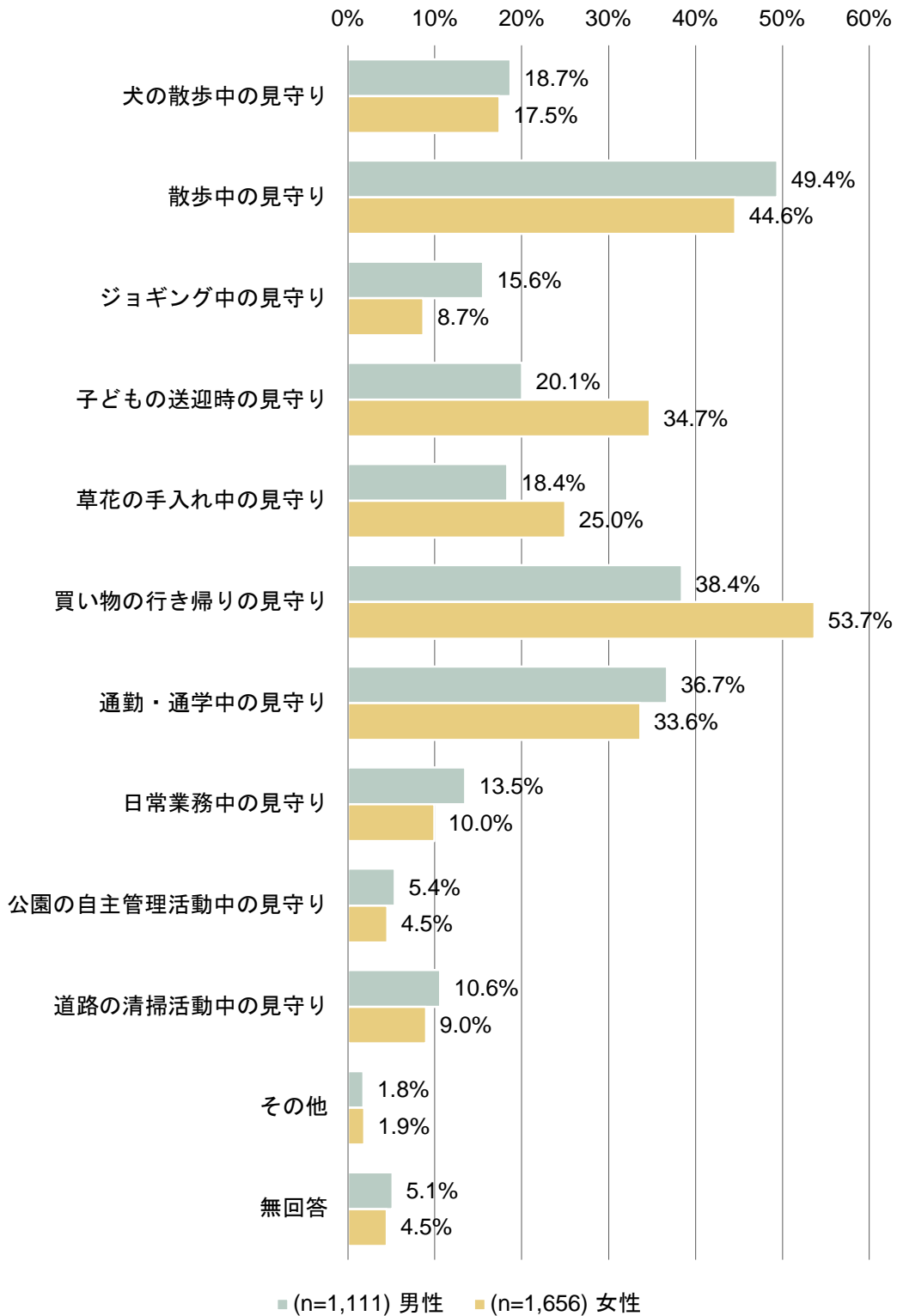


その他の内容 ()内は件数

- 地域活動中の見守り(6)
- 家の中やベランダ、庭からの見守り(3)
- 仕事中的見守り(2)
- 買い物や習い事等の行き帰りの見守り(3)
- 仕事や体調等の理由で見守りは難しい(14) 等

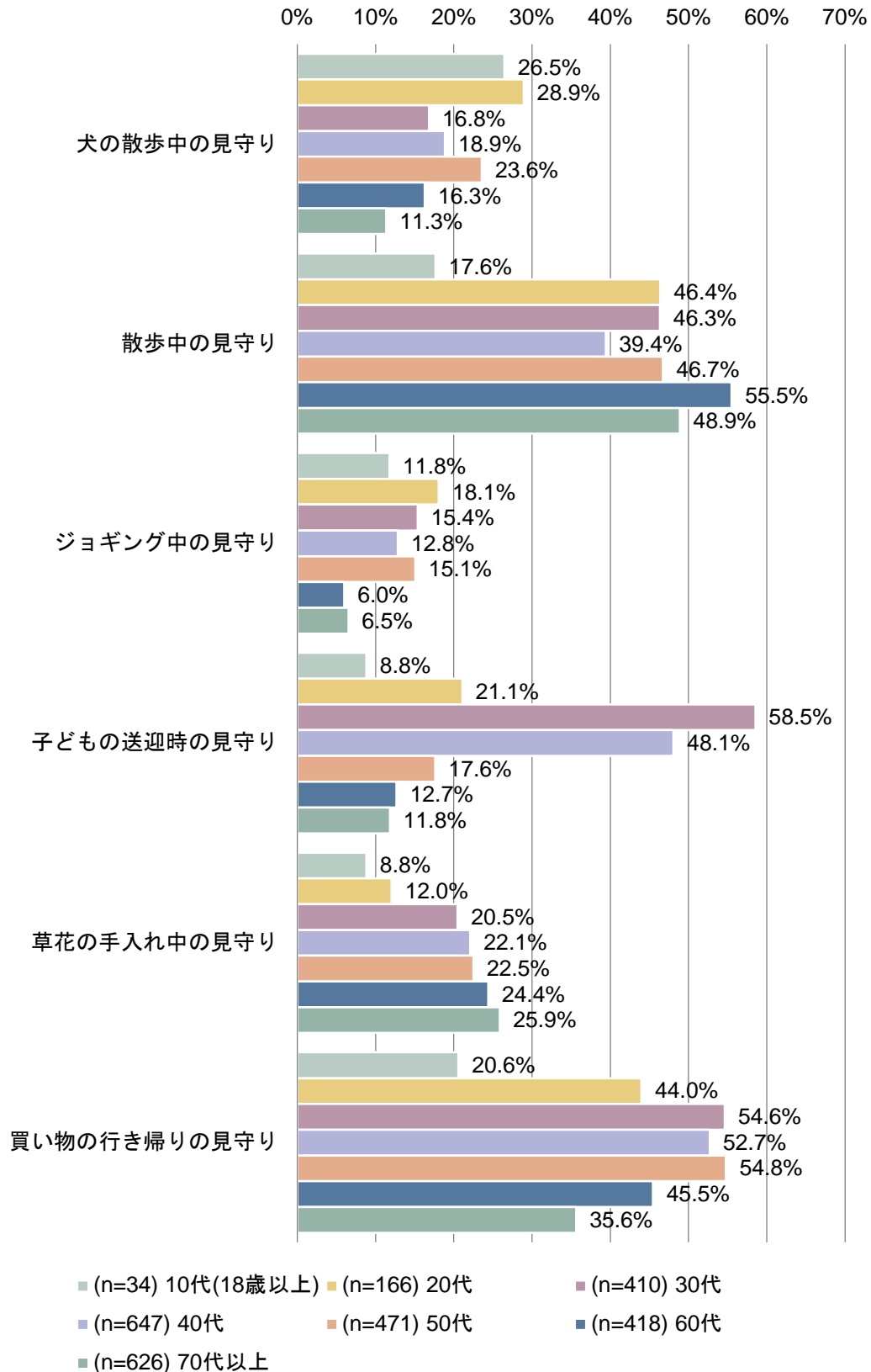
男女別にみると、「ジョギング中の見守り」で男性の方が6.9%高く、「買い物の行き帰りの見守り」で女性の方が15.3%、「子どもの送迎時の見守り」で女性の方が14.6%、「草花の手入れ中の見守り」で女性の方が6.6%高い。

図表 16-2 防犯の視点を持って地域を見守る活動であなたが実施できそうなもの(男女別)

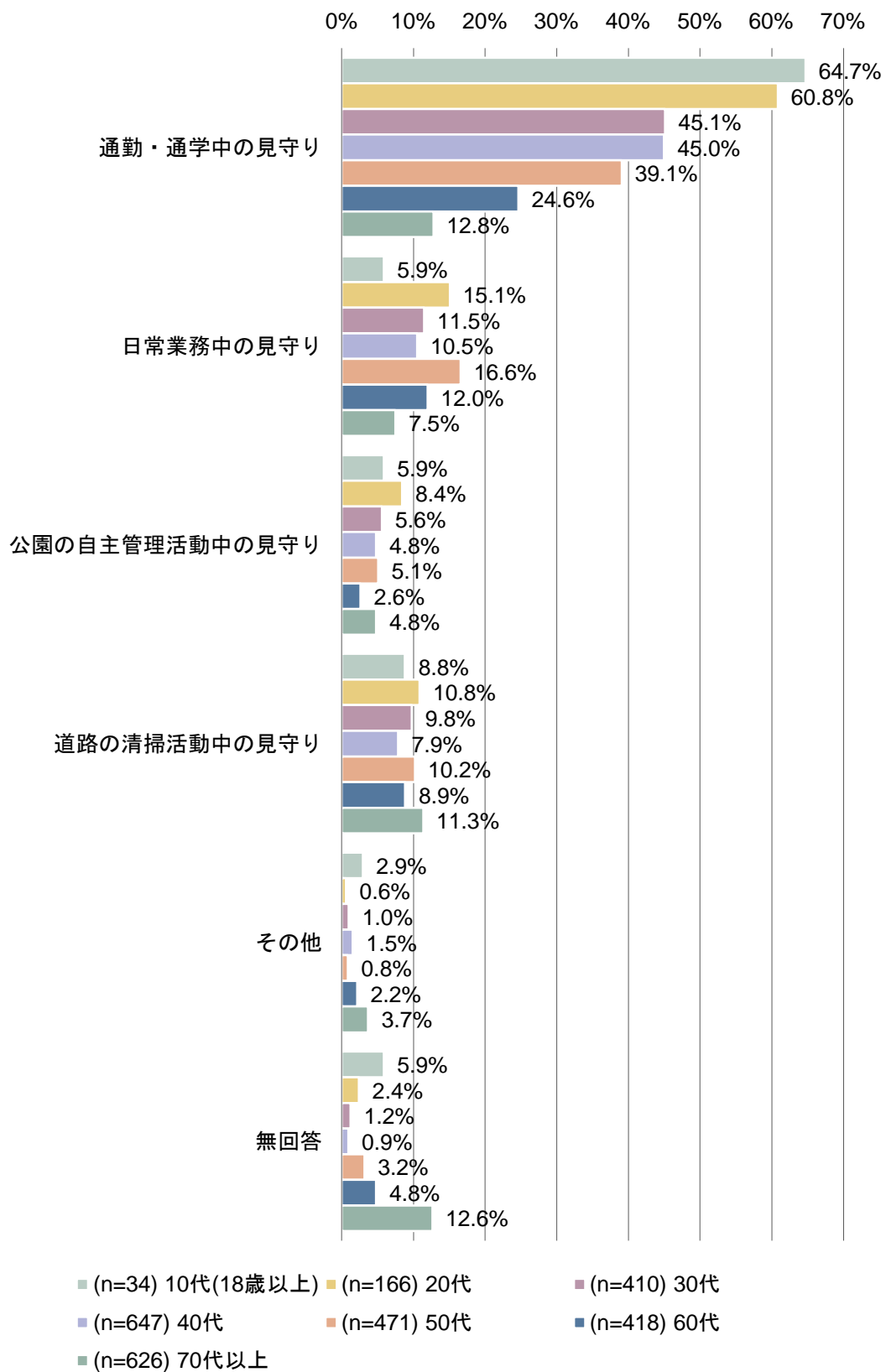


年代別にみると、「散歩中の見守り」で60代が突出して高く、「子どもの送迎時の見守り」で30代、40代が突出して高く、「買い物の行き帰りの見守り」で50代、30代、40代が突出して高い。「草花の手入れ中の見守り」で年代が高いほど高く、「通勤・通学中の見守り」で年代が高いほど低い。

図表 16-3 防犯の視点を持って地域を見守る活動であなたが実施できそうなもの(年代別)

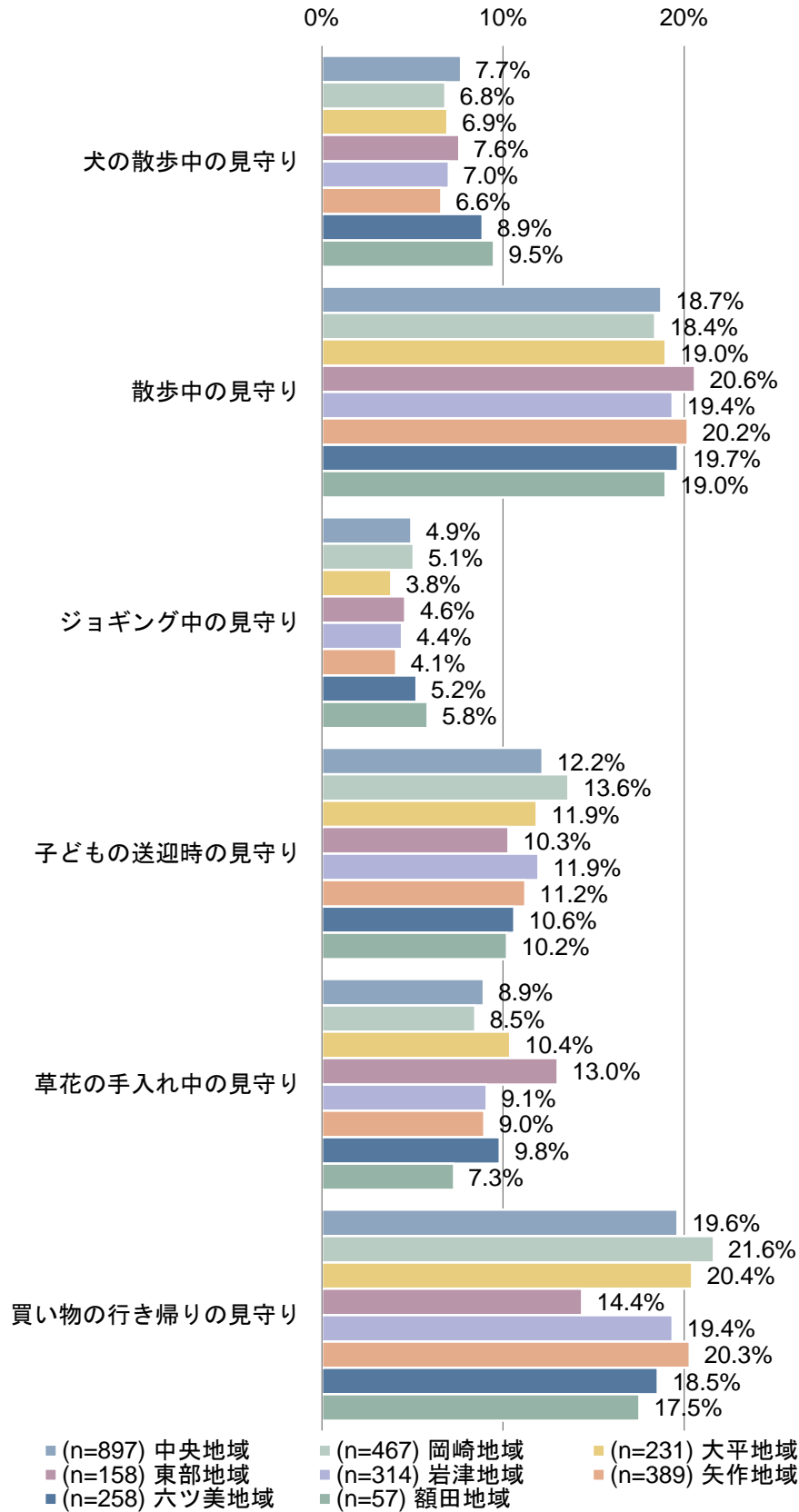


図表 16-3 防犯の視点を持って地域を見守る活動であなたが実施できそうなもの(年代別)
※つづき

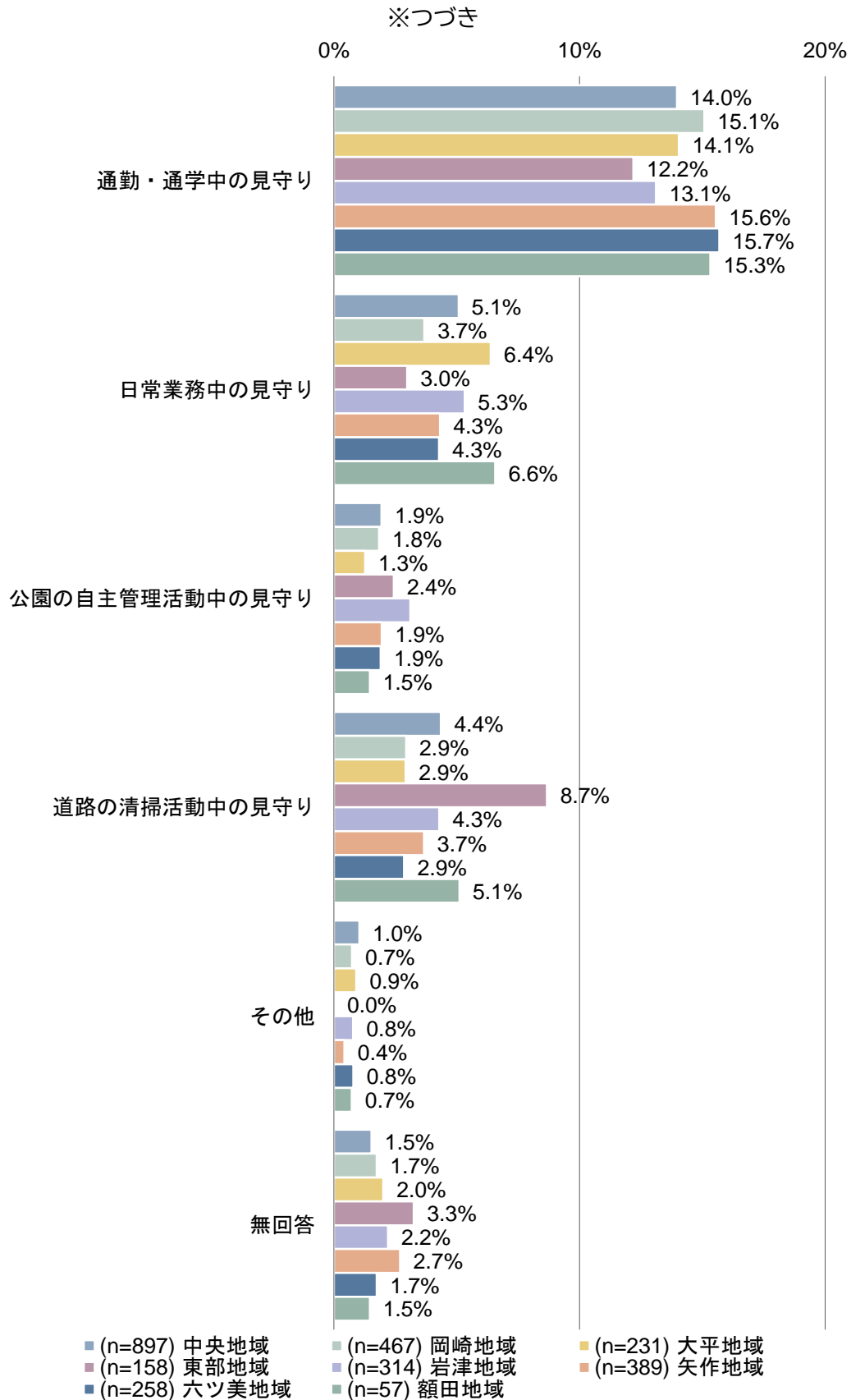


地域別にみると、「買い物の行き帰りの見守り」「通勤・通学中の見守り」で東部地域が突出して低く、「道路の清掃活動中の見守り」で東部地域が突出して高い。

図表 16-4 防犯の視点を持って地域を見守る活動であなたが実施できそうなもの(地域別)



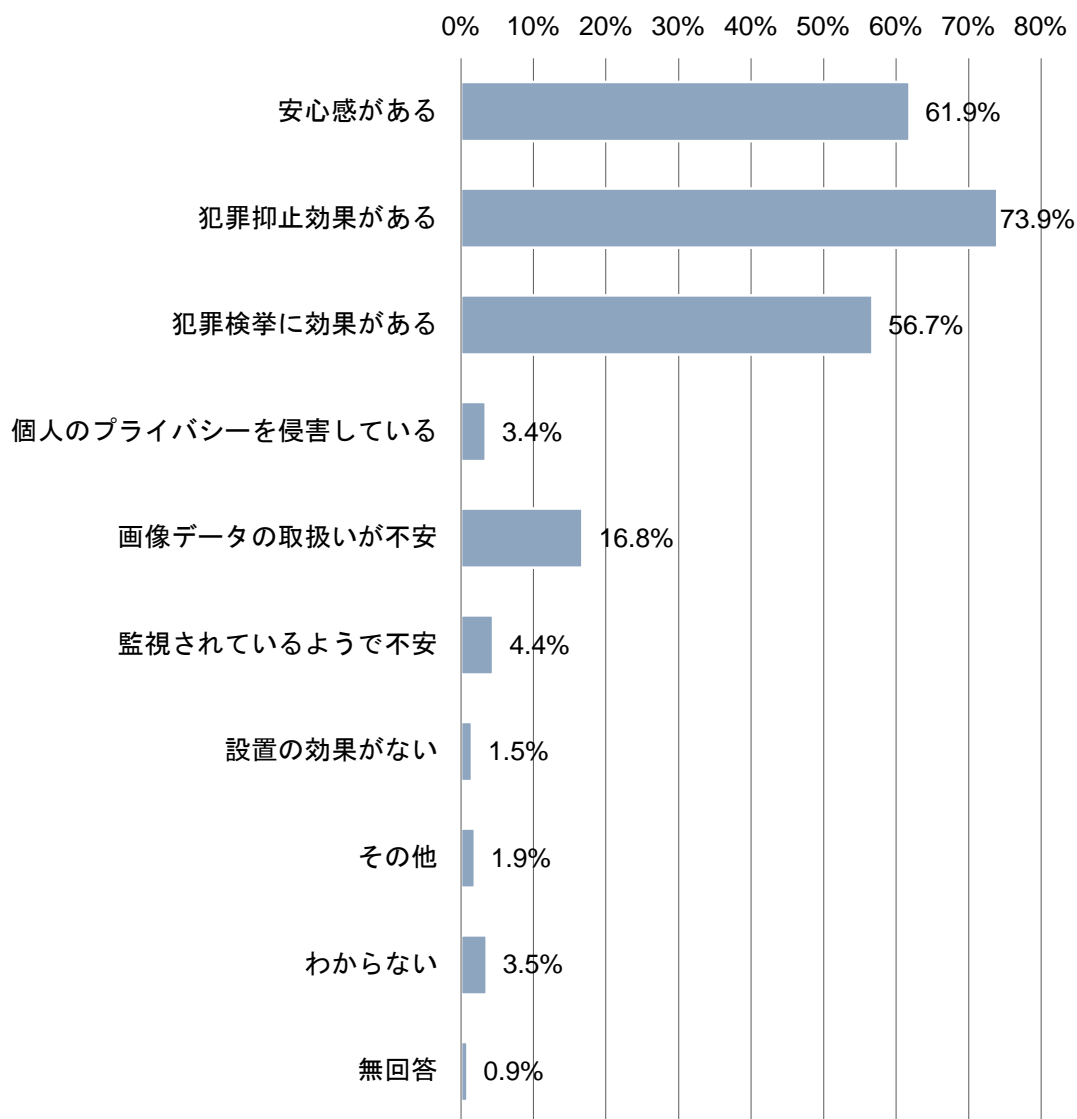
図表 16-4 防犯の視点を持って地域を見守る活動であなたが実施できそうなもの(地域別)



問 17 公共空間での街頭防犯カメラの設置についてあなたのお考えに近いもの (MA)

「犯罪抑止効果がある」の割合が最も高く 73.9%となっている。次いで、「安心感がある (61.9%)」、「犯罪検挙に効果がある (56.7%)」となっている。

図表 17-1 公共空間での街頭防犯カメラの設置についてあなたのお考えに近いもの (n=2,790)



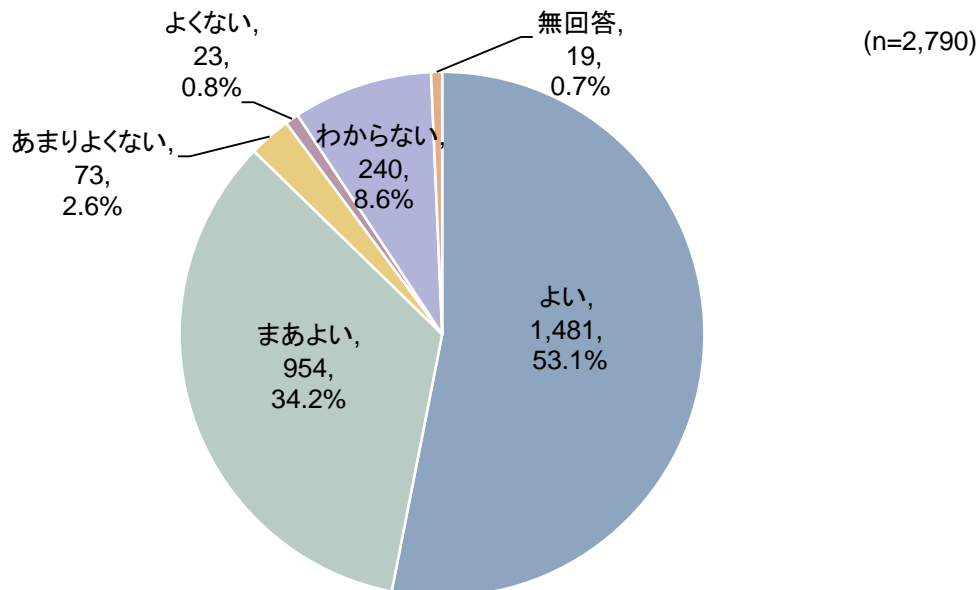
その他の内容 ()内は件数

- 増設・設置されていない地域や公園、人通りの少ない場所への設置要望(17)
- 設置箇所が分からない(9)
- 監視されていることに対する不安(8)
- 「防犯カメラ作動中」の看板が多い(2)
- 本当に作動しているか不安(2) 等

問 18 防犯カメラをネットワーク化し一元的に管理する仕組みの導入についての考え
(SA)

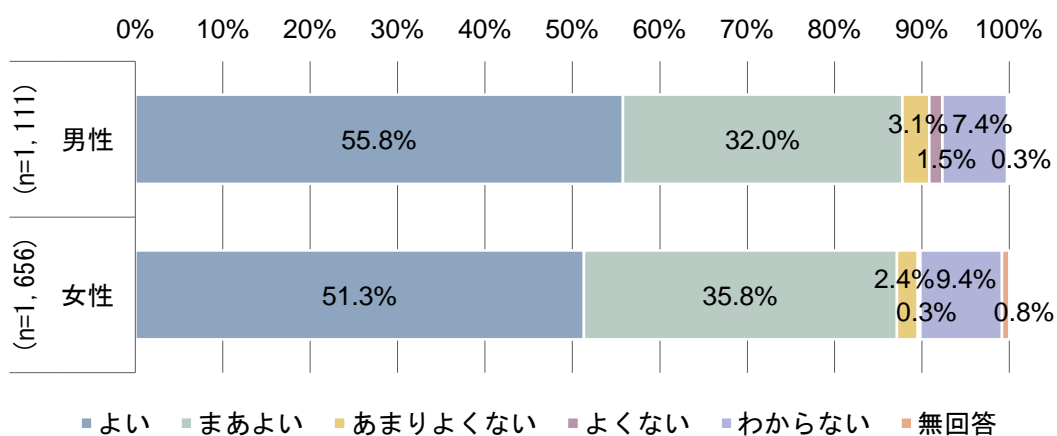
「よい」の割合が最も高く 53.1%となっている。次いで、「まあよい(34.2%)」、「わからない(8.6%)」となっている。

図表 18-1 防犯カメラをネットワーク化し一元的に管理する仕組みの導入についての考え



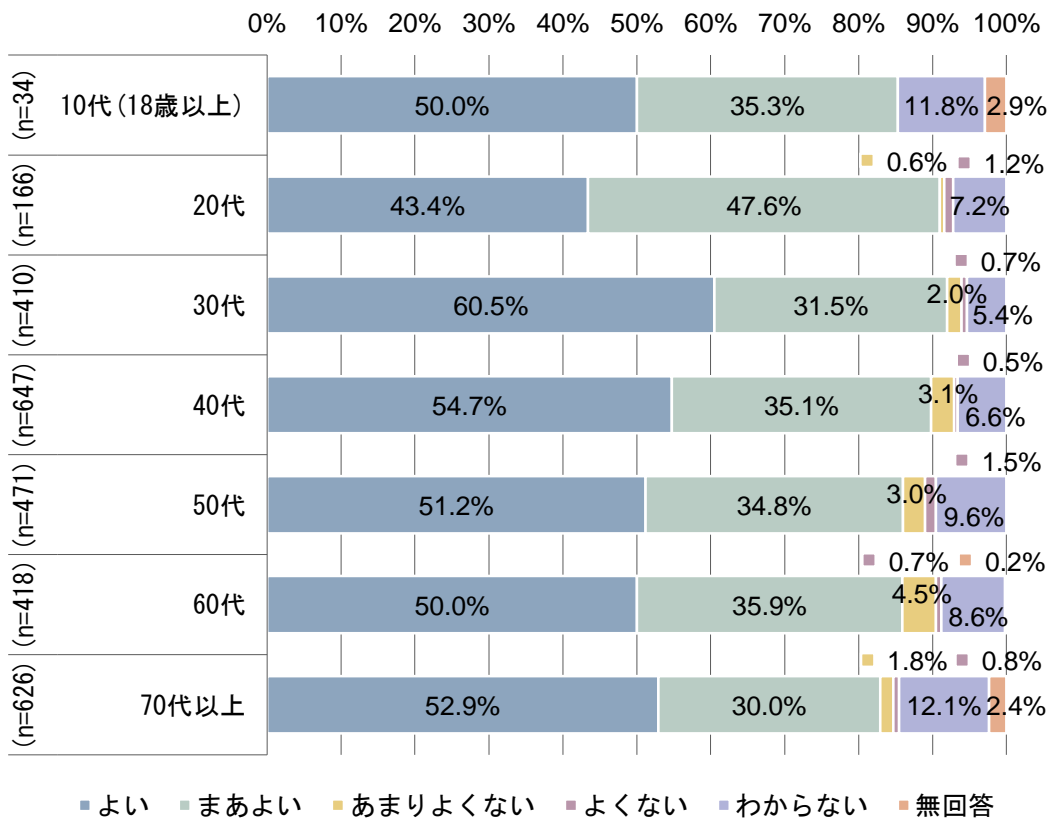
男女別にみると、「よい」と「まあよい」の合計の割合が男性で 87.8%、女性で 87.1%となっている。

図表 18-2 防犯カメラをネットワーク化し一元的に管理する仕組みの導入についての考え
(男女別)



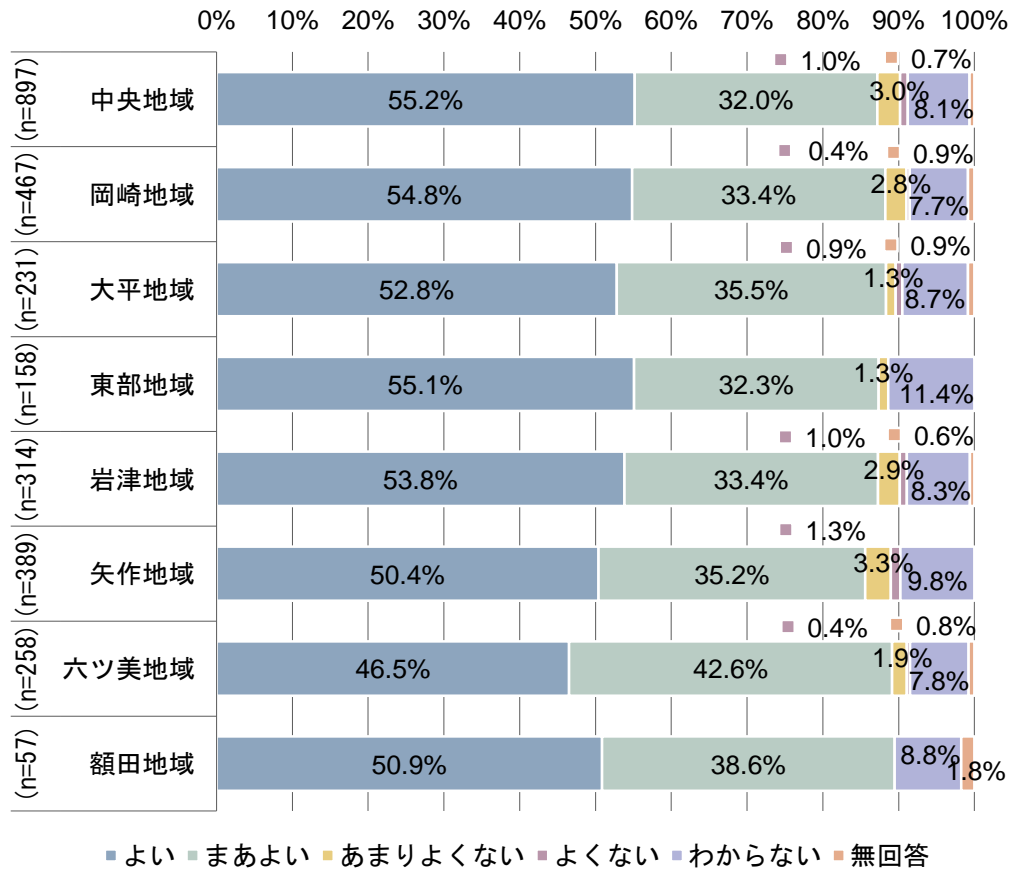
年代別にみると、「よい」と「まあよい」の合計の割合が70代以上で82.9%と最も低く、30代で92.0%と最も高い。

図表 18-3 防犯カメラをネットワーク化し一元的に管理する仕組みの導入についての考え
(年代別)



地域別にみると、「よい」と「まあよい」の合計の割合が矢作地域で 85.6%と最も低く、額田地域で 89.5%と最も高い。

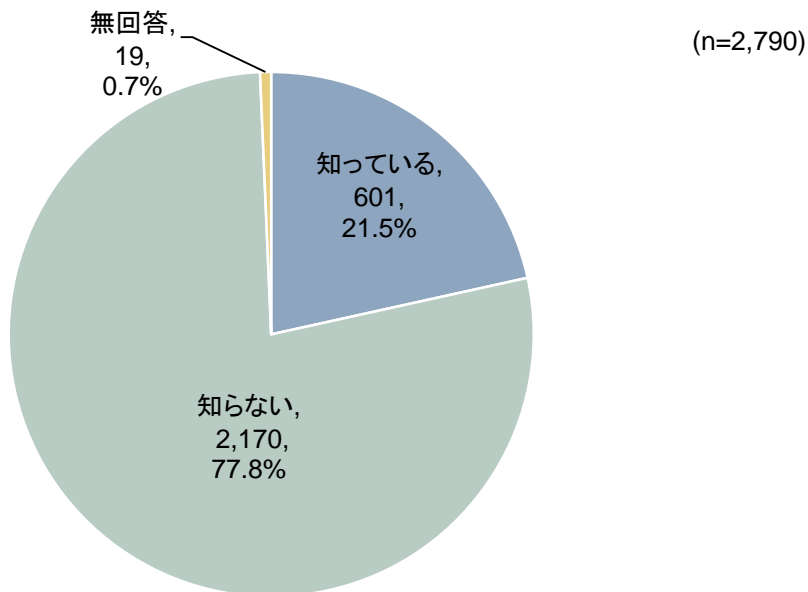
図表 18-4 防犯カメラをネットワーク化し一元的に管理する仕組みの導入についての考え
(地域別)



問 19 令和4年1月に都市宣言を表明したことを知っているか (SA)

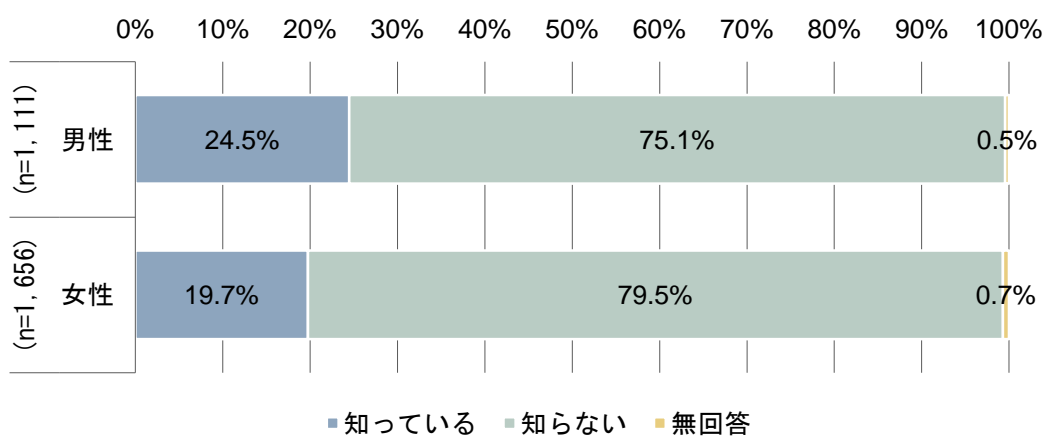
「知らない」の割合が最も高く 77.8%となっている。次いで、「知っている(21.5%)」となっている。

図表 19-1 令和4年1月に都市宣言を表明したことを知っているか



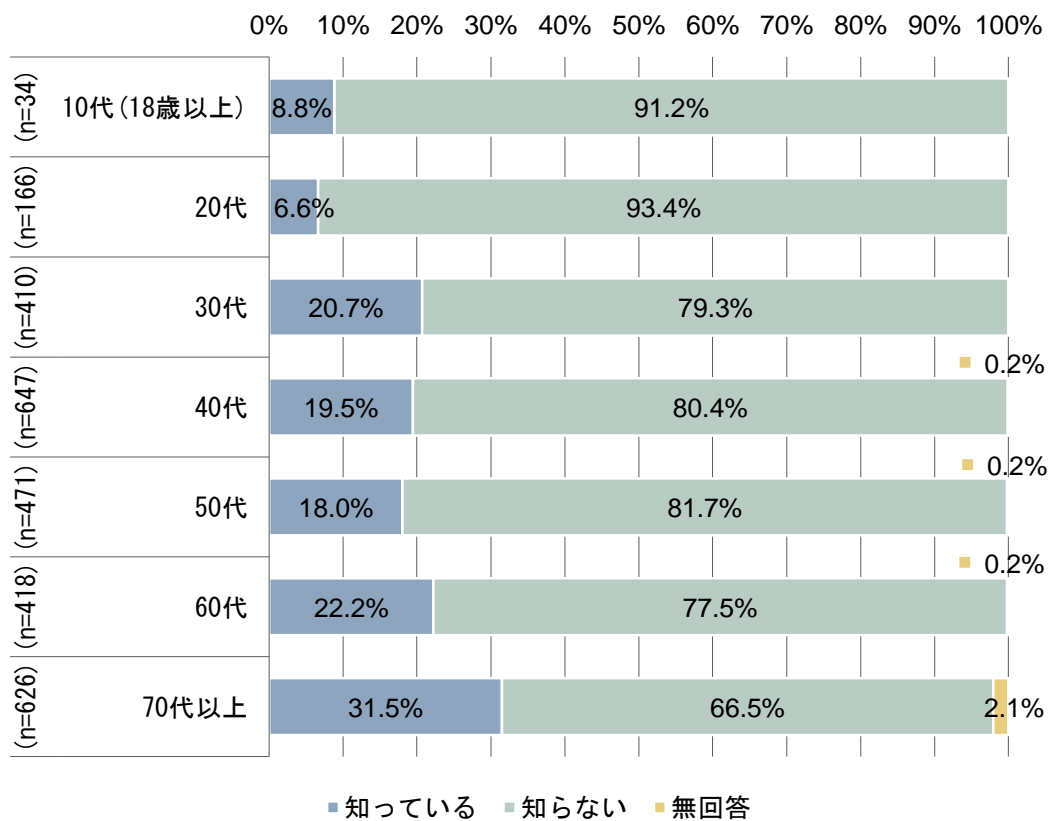
男女別にみると、「知っている」の割合が男性で 24.5%、女性で 19.7%と、男性の方が高い。

図表 19-2 令和4年1月に都市宣言を表明したことを知っているか(男女別)

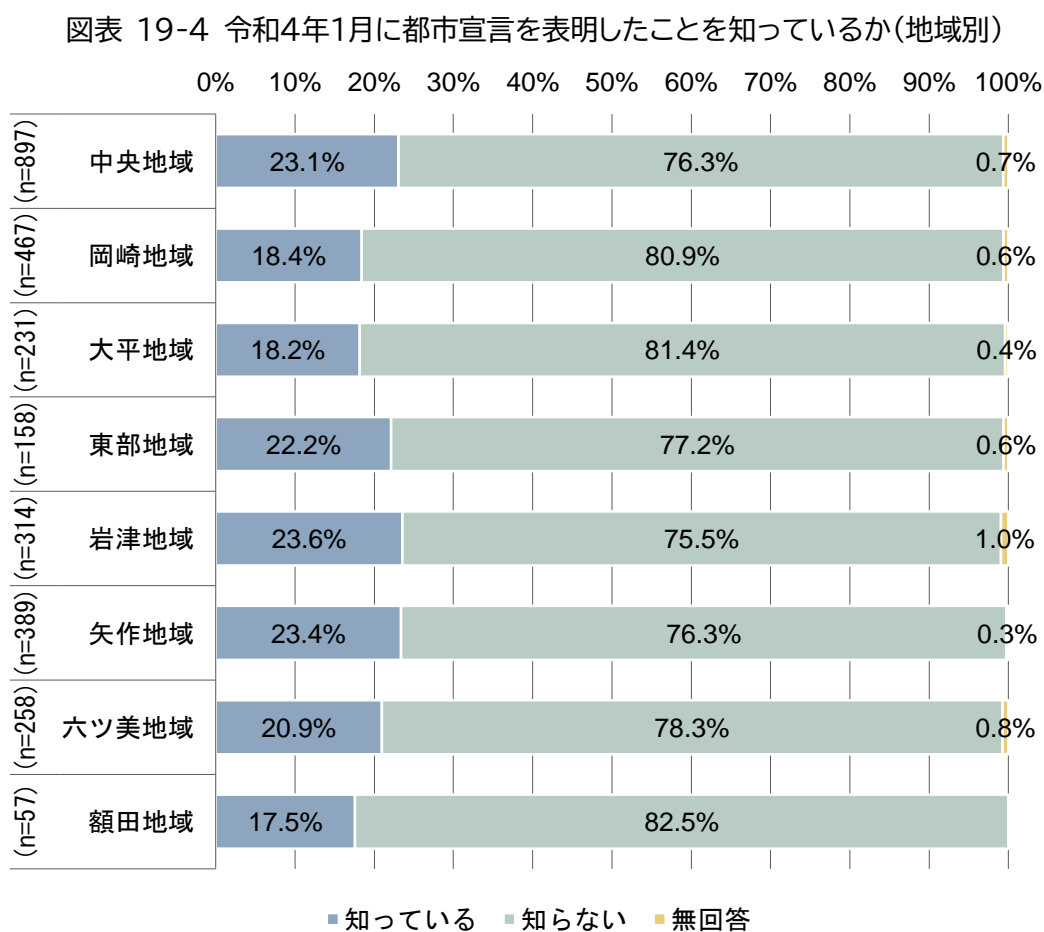


年代別にみると、「知っている」の割合が20代で6.6%と最も低く、70代以上で31.5%と最も高い。

図表 19-3 令和4年1月に都市宣言を表明したことを知っているか(年代別)



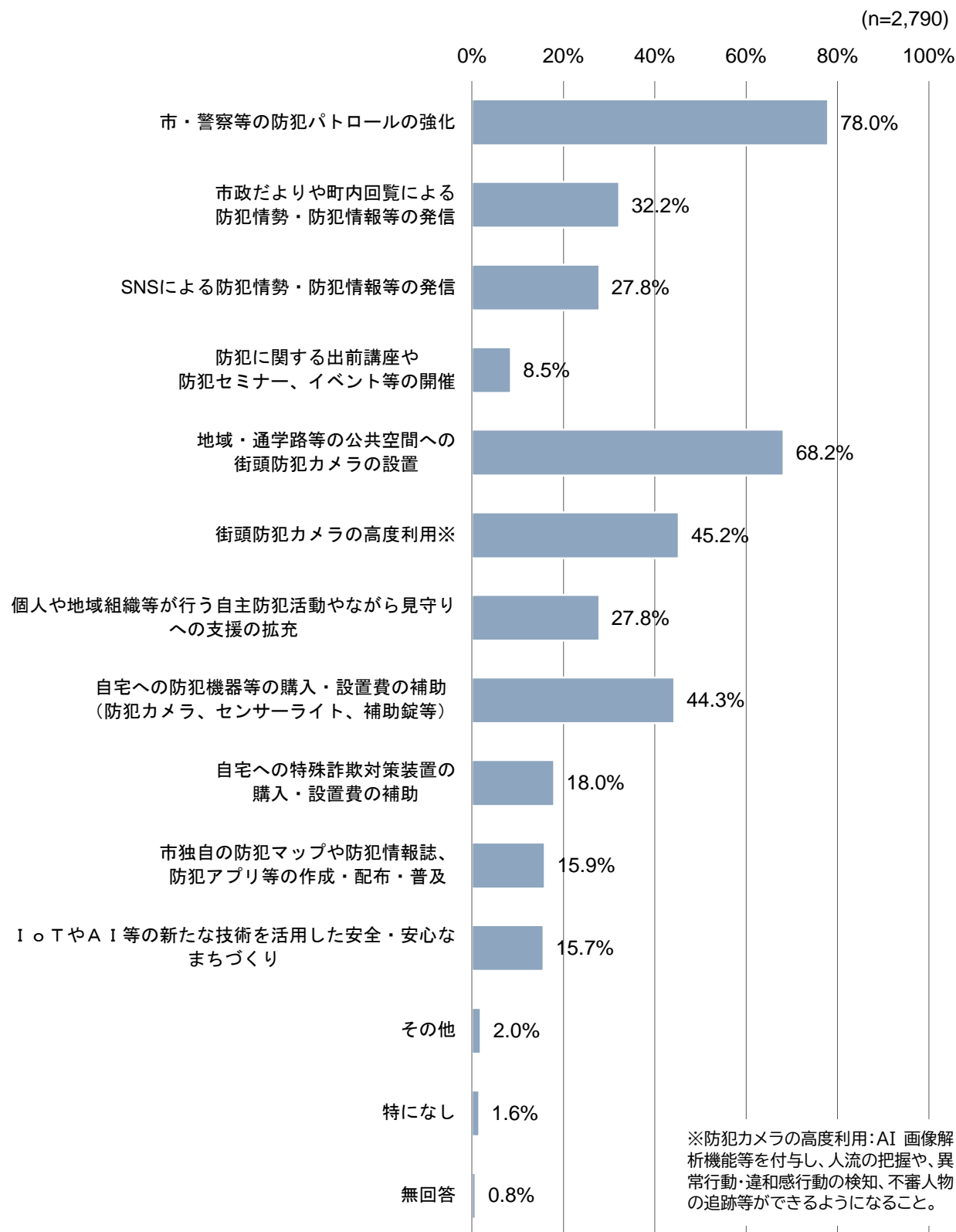
地域別にみると、「知っている」の割合が額田地域で17.5%と最も低く、岩津地域で23.6%と最も高い。



問 20 安全・安心なまちの実現に向けて、特に必要だと思う取り組み（MA）

「市・警察等の防犯パトロールの強化」の割合が最も高く78.0%となっている。次いで、「地域・通学路等の公共空間への街頭防犯カメラの設置(68.2%)」、「街頭防犯カメラの高度利用(45.2%)」となっている。

図表 20-1 安全・安心なまちの実現に向けて、特に必要だと思う取り組み



その他の内容 ()内は件数

- 街灯の設置・増設(13)
- 住民同士のつながり(9)
- 学校での子どもへの性教育、防犯講座(6)
- 犯罪発生時の速やかな情報発信や防犯意識啓発に関する情報発信(6)
- 公共空間以外を含めた防犯カメラの増設(4) 等

問 21 防犯に関し市や警察に実施してほしいこと

一部抜粋 ()内は件数

- **パトロールの強化(263)**
 - 市や警察の防犯パトロールを強化して欲しい。
 - 子どもの連れ去りが心配であるため、小中学生の登下校時間の見回りやパトロールを増やして欲しい。
 - メイン道路から少し入った生活道路や過去に事件が発生した周辺について、警察署による不定期パトロールをお願いしたい。
 - 青色防犯パトロール実施車両のガソリン代に対して助成して欲しい。
- **防犯カメラの増設・設置希望箇所(127)**
 - 防犯カメラの購入費用補助制度を作って欲しい。
 - 防犯カメラの設置台数を増やして欲しい。
 - 公園に防犯カメラを設置して欲しい。
 - 空き家や神社、寺など、人気がない場所も防犯カメラなどの対策をして欲しい。
 - 防犯カメラはプライバシーの配慮よりも安全重視で設置して欲しい。
 - 防犯カメラは、犯罪抑止や犯人検挙にも繋がると思う。
 - 男川駅周辺は無人駅であり、人が少なくて夜になると怖い。駅だけじゃなく周辺にも防犯カメラと監視中の看板があると良い。
 - 防犯カメラ設置には賛成だが、市民のプライバシーは守られる仕組みにして欲しい。
- **警察・交番への要望(109)**
 - 不審者の取り締まりを強化して欲しい。
 - クレームや迷惑行為者についても犯罪に発展する可能性があるため不安である。
 - 取り締まりも必要だが、犯罪を未然に防ぐ地域に根づいた活動も必要。
 - 悪質な訪問営業の取り締まりを強化して欲しい。
 - 警察に電話した時には、すぐに対応して欲しい。
 - 交番を増やして欲しい。
 - 交番に誰もいない場合が多いため、体制を強化して欲しい。
- **防犯灯の増設(108)**
 - 公園や通学路等に防犯灯を設置して欲しい。
 - 街灯が少なくて夜暗すぎると感じるころへ防犯灯を設置して欲しい。
 - 防犯灯があっても明るくなければ意味がないため、街灯を増やしつつLEDにして欲しい。
- **情報発信(68)**
 - 犯罪発生時にタイムリーな広報と犯罪情報の収集活動を実施して欲しい。
 - 市民への犯罪防止への関心を高める活動を行って欲しい。
 - 事案や不安に思う犯罪等の相談窓口や防犯対策の方法などを具体的に市民へわかりやすく周知して欲しい。
 - 誤報であっても構わないので、不審者情報は即時に知らせたい。
 - 近隣の市町村を含めた犯罪情報のデータを教えてほしい。
- **交通事故防止(65)**
 - 車両を使う犯罪を防ぐため、道路の駐車禁止の取り締まりを強化して欲しい。
 - 狭い道路は交通マナーが悪いため道路整備等の対策をして欲しい。
 - 横断歩道、信号、カーブミラーを増設して欲しい。

■ 子どもの犯罪巻き込まれ防止(38)

- ボランティアの立ち当番だけでは不安だと感じる。
- GPS機能付きのブザーを配布して欲しい。
- 通学路が人目につかない通りのため不安である。
- 中学生に対する心を育てる教育の充実や、子どもの心の成長に影響が出る可能性が高い家庭に対する子どもへのサポートの充実などを将来の犯罪抑止のために実施して欲しい。
- 子どもたちの通学時の持ち物に大きく名前を書かせることをやめて欲しい。
- 子どもが出入りする公共施設等は防犯対策を強化して欲しい。

■ 地域コミュニティの強化(35)

- 市や警察による防犯活動には限界があるため、各地域が一丸となり犯罪のない安全で安心な街づくりに努める活動を実施することが一番効果的である。
- 地域力を高めるため、近所付き合いが活発になる様な取り組みが必要である。
- 犯罪防止をする仕組みの強化に加え、コミュニティの力によるレジリエンス強化も社会基盤強化として有効である。
- 近年の住民相互の付き合いの希薄化が心配である。
- 地域住民と行政とが連携し、あらゆる機会を通して防犯意識の高揚に努めることが大切である。

■ 学校における防犯教育の推進(30)

- 子どもへ性教育を実施することは、子どもを狙う犯罪者から子ども守ることに繋がる。
- 子ども達自身が防犯の知識を学ぶ機会として、各幼稚園、保育園、小中学校、高校において各年代に合わせた対処について警察官による講和をして欲しい。
- 小学校や幼稚園、保育園において、親向けの防犯講習会があれば参加したい。
- どういった行為が犯罪であるかという知識を学校教育等で周知して欲しい。

■ 良好な街並みの維持(28)

- 見通しが悪く狭い道路や歩道が多い。
- 道路や公園の植樹の適正管理。
- 駅や公共のトイレのリニューアル及び最新化と防犯対応の強化をして欲しい。

■ 注意喚起(27)

- 防犯に関する看板を多く設置して欲しい。
- 駅周辺は不審者がいるので注視して欲しい。

■ ボランティア(18)

- ボランティアには参加したいが、参加方法がわからない人が一定数いるはずであるため、ボランティアに関する周知をしっかりとって欲しい。
- 見守りボランティアは、特定の高齢者の方だけにお願いするのではなく、地域の高齢者の方に広く認知してもらい参加してもらおう。
- 保護者も空いている時間、都合が良い時間に気軽に参加できるような周知があると参加しやすくなり、地域全体で見守ることができると思う。
- ボランティア(無償)ではなく報酬がある見守り隊の活動として欲しい。ボランティアに頼りきってはこの先活動する人の確保は難しいと思う。
- 夜間の歩行者は、ライトを持って歩くよう促して欲しい。
- 住宅における玄関灯の夜間点灯に対する広報と啓蒙活動をして欲しい。

■ 防犯グッズの配布(15)

- 防犯対策グッズの配布をして欲しい。
- 自動車や自転車などの窃盗対策グッズへの補助制度を実施して欲しい。
- 自宅への防犯機器等の購入設置費への補助制度を実施して欲しい。
- 防犯ブザーの点検は忘れがちなので、新学期等に学校で声かけをして欲しい。
- 実際に大声を出すなど、実践型の防犯教室を行って欲しい。

- **特殊詐欺防止(11)**
 - 高齢者に向けて特殊詐欺対策をわかりやすく周知・情報発信して欲しい。
 - 高齢者や認知症の方が振込み詐欺に遭わないための防止対策を銀行や企業と連携して取組んで欲しい。

- **ごみステーションの適正管理(6)**
 - ごみステーションの見張りをして欲しい。
 - 不燃ごみを物色し、資源物を軽トラックで持ち去る人がいるため、パトロールをして欲しい。
 - ごみステーションへの不法投棄など軽微な取り締まり対策も必要である。

- **自転車関係(4)**
 - 駅の駐車場でよく自転車の部品を盗まれる。
 - ライトをつけっぱなしにされるイタズラを受けたことがある。

- **都市宣言(3)**
 - 都市宣言で「子ども、女性、高齢者を犯罪から守るまち岡崎」とありますが、男性は守ってくれないのかと、疑問に思うため、「犯罪のないまち岡崎」等もう少し抽象的な表現でもいいと思う。

- **市への要望・激励(52)**
 - 他自治体が実施している取組や先進的な施策の情報を収集し、防犯活動に活かして欲しい。
 - 防犯意識の啓発に繋がる施策を継続実施して欲しい。
 - 事件が起こってからでは遅いため、未然に防止する取組を推進して欲しい。
 - 安全、安心な岡崎市になるため市民を巻き込んだ施策を進めて欲しい。
 - 地域安全のため一般市民に対して『目に見える防犯活動』を実施して欲しい。